

# 2020年3月期 決算説明会

 丸一鋼管株式会社

会長兼CEO 鈴木博之

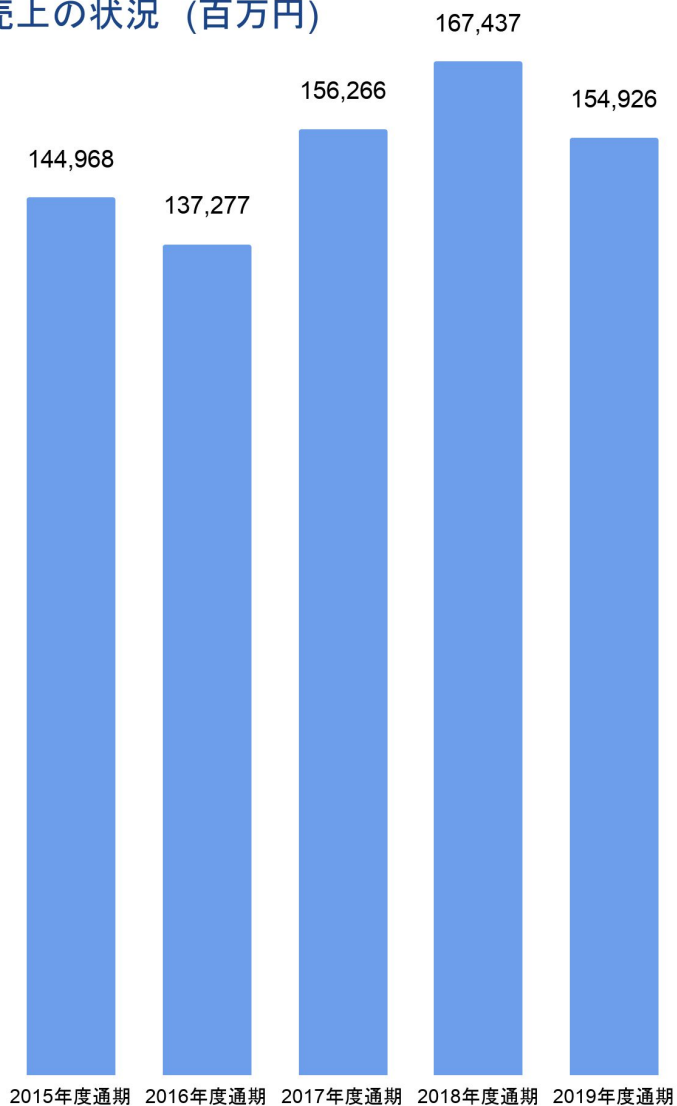
I. 2020年3月期 連結決算概要	…	P. 2
II. 2020年3月期 単体決算概要	…	P. 14
III. 2021年3月期 業績予想	…	P. 24
IV. 第5次中期経営計画の進捗状況	…	P. 30
(参考資料)海外各社の概要と業績の推移	…	P. 58
(参考資料)丸一グループの特色	…	P. 69

2020年5月13日

# I . 2020年3月期 連結決算概要

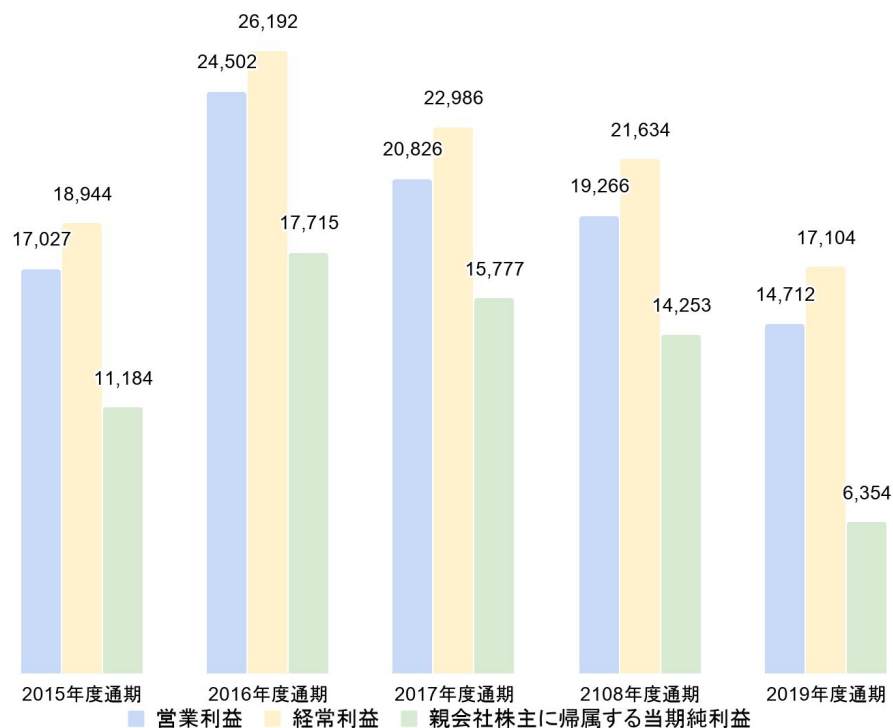
【単位 百万円】

### 売上状況 (百万円)



	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	増減率	2月発表 予想	増減率
売上高	167,437	154,926	▲ 7.5%	154,300	+0.4%
営業利益	19,266	14,712	▲ 23.6%	14,300	+2.9%
経常利益	21,634	17,104	▲ 20.9%	16,800	+1.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	14,253	6,354	▲ 55.4%	9,900	▲ 35.8%

### 利益状況 (百万円)



	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	144,968	100.0%	137,277	100.0%	156,266	100.0%	167,437	100.0%	154,926	100.0%
売上原価	114,973	79.3%	100,152	73.0%	122,304	78.3%	134,481	80.3%	126,568	81.7%
売上総利益	29,994	20.7%	37,124	27.0%	33,962	21.7%	32,956	19.7%	28,357	18.3%
販売費及び一般管理費	12,967	8.9%	12,622	9.2%	13,135	8.4%	13,689	8.2%	13,644	8.8%
営業利益	17,027	11.7%	24,502	17.8%	20,826	13.3%	19,266	11.5%	14,712	9.5%
営業外収益	2,932	2.0%	2,670	1.9%	2,933	1.9%	3,296	2.0%	3,153	2.0%
営業外費用	1,015	0.7%	981	0.7%	774	0.5%	928	0.6%	760	0.5%
経常利益	18,944	13.1%	26,192	19.1%	22,986	14.7%	21,634	12.9%	17,104	11.0%
特別利益	1,872	1.3%	329	0.2%	299	0.2%	573	0.3%	816	0.5%
特別損失	2,844	2.0%	398	0.3%	33	0.0%	990	0.6%	7,860	5.1%
税金等調整前当期純利益	18,052	12.5%	26,123	19.0%	23,251	14.9%	21,217	12.7%	10,061	6.5%
法人税等	7,457	5.1%	7,302	5.3%	6,966	4.5%	6,309	3.8%	4,557	2.9%
非支配株主に帰属する当期純利益	▲ 589	▲ 0.4%	1,106	0.8%	507	0.3%	654	0.4%	▲ 850	▲ 0.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	11,184	7.7%	17,715	12.9%	15,777	10.1%	14,253	8.5%	6,354	4.1%

# 2020年3月期 連結P/L前期実績との差額要因

【単位 億円】

	2020年3月期 通期			
	前期	今期	増減	増減率
<b>売上高</b>	1,674.4	1,549.3	▲125.1	▲7.5%
<b>営業利益</b>	192.7	147.1	▲45.5	▲23.6%
(受取利息・配当金等)	15.1	14.8	▲0.3	
(持分法投資利益)	6.7	4.4	▲2.3	
(その他営業外収入)	11.1	12.4	+1.2	
(支払利息)	2.6	3.0	▲0.4	
(為替差損)	2.5	1.2	+1.3	
(不動産賃貸費用)	2.8	2.7	+0.1	
(その他営業外費用)	1.4	0.7	+0.7	
<b>経常利益</b>	216.3	171.0	▲45.3	▲20.9%
(固定資産売却益)	1.6	4.5	+2.9	
(投資有価証券売却益)	0.6	2.6	+2.0	
(その他特別利益)	3.6	1.1	▲2.5	
(減損損失)	0.0	33.4	▲33.4	
(固定資産除去損)	0.5	1.6	▲1.1	
(投資有価証券売却損・評価損)	5.8	42.6	▲36.8	
(その他特別損失)	3.6	1.1	+2.5	
<b>税金等調整前当期純利益</b>	212.2	100.6	▲111.6	▲52.6%
(法人税等)	63.1	45.6	+17.5	
(当期純利益)	149.1	55.0	▲94.0	
(非支配株主に帰属する四半期期純利益)	6.5	▲8.5	+15.1	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	142.5	63.5	▲79.0	▲55.4%

売上高	増減
単体要因	▲28.8億円
MAC	▲23.2億円
MKK USA INC.	▲28.8億円
MOST	▲14.3億円
MMX	+3.3億円
SUNSCO(含Hanoi)	▲27.5億円
KUMA	▲8.2億円
アルファメタル	▲7.1億円
その他国内子会社	▲54.0億円
連結消去・組換仕訳増減	+63.6億円

営業利益	増減
単体要因	+5.5億円
MAC	▲16.3億円
MKK USA INC.	▲16.7億円
MOST	▲8.9億円
MMX	▲0.2億円
SUNSCO(含Hanoi)	▲0.8億円
KUMA	▲4.2億円
アルファメタル	▲0.9億円
その他国内子会社	▲7.1億円
連結消去・組換仕訳増減	+4.0億円

経常利益	増減
単体要因	+3.1億円
MAC	▲16.0億円
MKK USA INC.	▲17.4億円
MOST	▲8.2億円
MMX	▲0.5億円
SUNSCO(含Hanoi)	▲1.2億円
KUMA	▲3.0億円
アルファメタル	▲0.6億円
その他国内子会社利益	▲7.0億円
持分法適用関連会社	▲2.3億円
連結消去・組換仕訳増減	+8.0億円

## 連結損益計算書 前期比較 増減要因

1. 売上高 154,926百万円
  - a. 前期比▲125.1億円 ▲7.5%
  - b. 北米の数量減と製品価格下落
  - c. アジアはSUNSCOの数量減とHanoiの単価下落、KUMAの数量減
2. 営業利益 14,712百万円
  - a. 前期比▲45.5億円 ▲23.6%
  - b. 北米の鋼材価格急落で製品価格下落が材料コスト下落に先行したことと、販売数量減により高値在庫数量が増加し、材料コスト下落に時間を要したことによるスプレッドダウン
  - c. MOSTのカナダ向け売上急減
  - d. アジアはSUNSCO HCMの競争環境と低スプレッド、年間13百万US\$の重い償却負担
3. 経常利益 17,104百万円
  - a. 前期比▲45.3億円 ▲20.9%
  - b. 営業外収益は持分法による投資利益と受取配当金が減少
  - c. 営業外費用は為替差損減少
4. 親会社株主に帰属する当期純利益 6,354百万円
  - a. 前期比▲79.0億円 ▲55.4%
  - b. 特別利益は丸一鋼販大阪営業所売却益、国内事業会社株式売却益などで+4.9億円
  - c. 特別損失はSUNSCOの設備減損、高炉他の株式評価損・売却損などで▲68.7億円

【単位 億円】

	2020年3月期 通期		
	2月予想	実績	差額
売上高	1,543.0	1,549.3	6.3
営業利益	143.0	147.1	4.1
経常利益	168.0	171.0	3.0
親会社株主に帰属する当期純利益	99.0	63.5	▲35.5

売上高	予想	実績	影響額
丸一単体	977.0億円	976.6億円	▲0.4億円
MAC	73.4億円	73.7億円	0.3億円
MKK USA INC.	115.5億円	117.7億円	2.2億円
MOST	45.8億円	46.0億円	0.2億円
MMX	25.9億円	26.0億円	0.1億円
SUNSCO(Hanoiを含む)	225.6億円	226.5億円	0.9億円
KUMA	54.6億円	55.8億円	1.2億円
アルファメタル	47.2億円	46.4億円	▲0.9億円
その他国内子会社	837.5億円	825.1億円	▲12.4億円
連結調整	▲859.5億円	▲844.5億円	15.1億円

営業利益	予想	実績	影響額
丸一単体	141.0億円	144.7億円	3.7億円
MAC	▲5.3億円	▲5.6億円	▲0.4億円
MKK USA INC.	▲6.8億円	▲5.6億円	1.2億円
MOST	▲8.1億円	▲6.9億円	1.3億円
MMX	4.3億円	4.1億円	▲0.2億円
SUNSCO(含 Hanoi)	0.6億円	0.5億円	▲0.1億円
KUMA	3.2億円	2.8億円	▲0.4億円
アルファメタル	▲0.2億円	▲0.3億円	▲0.1億円
その他国内子会社	10.8億円	9.6億円	▲1.3億円
のれん	0.0億円	0.0億円	0.0億円
連結調整	3.4億円	3.8億円	0.4億円

経常利益	予想	実績	影響額
丸一単体	175.0億円	179.1億円	4.1億円
MAC	▲4.0億円	▲4.4億円	▲0.4億円
MKK USA INC.	▲6.9億円	▲6.1億円	0.8億円
MOST	▲7.7億円	▲6.4億円	1.3億円
MMX	4.2億円	3.9億円	▲0.3億円
SUNSCO(含 Hanoi)	1.3億円	1.2億円	▲0.1億円
KUMA	3.4億円	2.7億円	▲0.8億円
アルファメタル	0.4億円	0.3億円	▲0.1億円
その他国内子会社	14.0億円	12.7億円	▲1.3億円
持分法適用関連会社	4.4億円	4.4億円	▲0.0億円
連結調整	▲16.1億円	▲16.2億円	▲0.1億円

親会社株主に帰属する当期純利益	予想	実績	影響額
丸一単体	110.0億円	67.5億円	▲42.5億円
MAC	▲4.0億円	▲3.2億円	0.8億円
MKK USA INC.	▲6.5億円	▲5.5億円	0.9億円
MOST	▲7.7億円	▲6.4億円	1.3億円
MMX	2.6億円	2.6億円	0.0億円
SUNSCO(含 Hanoi)	0.9億円	▲32.5億円	▲33.4億円
KUMA	2.5億円	2.3億円	▲0.2億円
アルファメタル	0.3億円	0.2億円	▲0.1億円
その他国内子会社	12.7億円	12.0億円	▲0.7億円
連結調整	▲11.7億円	26.8億円	38.5億円

# 連結営業成績 主要会社2月開示(予想)と実績との差額

【単位 億円】

2020年3月期 2月開示通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
MAC	73.4	▲5.3	▲4.0	▲4.0
MKK USA INC.	115.5	▲6.8	▲6.9	▲6.5
MOST	45.8	▲8.1	▲7.7	▲7.7
MMX	25.9	4.3	4.2	2.6
SUNSCO (含Hanoi)	225.6	0.6	1.3	0.9
KUMA	54.6	3.2	3.4	2.5
アルファメタル	47.2	▲0.2	0.4	0.3
その他国内子会社	837.5	10.8	14.0	12.7
持分法適用関連会社	—	—	4.4	—
のれん代	—	0.0	0.0	0.0
連結調整	▲859.5	3.4	▲16.1	▲11.7
合計	1,543.0	143.0	168.0	99.0

2020年3月期 通期実績

売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
実績	差額	実績	差額	実績	差額	実績	差額
976.6	▲0.4	144.7	3.7	179.1	4.1	67.5	▲42.5
73.7	0.3	▲5.6	▲0.4	▲4.4	▲0.4	▲3.2	0.8
117.7	2.2	▲5.6	1.2	▲6.1	0.8	▲5.5	0.9
46.0	0.2	▲6.9	1.3	▲6.4	1.3	▲6.4	1.3
26.0	0.1	4.1	▲0.2	3.9	▲0.3	2.6	0.0
226.5	0.9	0.5	▲0.1	1.2	▲0.1	▲32.5	▲33.4
55.8	1.2	2.8	▲0.4	2.7	▲0.8	2.3	▲0.2
46.4	▲0.9	▲0.3	▲0.1	0.3	▲0.1	0.2	▲0.1
825.1	▲12.4	9.6	▲1.3	12.7	▲1.3	12.0	▲0.7
—	—	—	—	4.4	▲0.0	—	—
—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
▲844.5	15.1	3.8	0.4	▲16.2	▲0.1	26.8	38.5
1,549.3	6.3	147.1	4.1	171.0	3.0	63.5	▲35.5



## 連結損益計算書 2月予想との比較 増減要因

1. 売上高
  - a. 予想比+6.3億円 +0.4%
  - b. 決算調整と連結調整が主因
2. 営業利益
  - a. 予想比+4.1億円 +2.9%
  - b. 単体の増益
  - c. MKK USA INC.とMOSTは、期末在庫評価損を予想したが、第4Qの鋼材市況価格が安定し減損は発生せずプラス要因に
3. 経常利益
  - a. 予想比+3.0億円 +1.8%
  - b. 営業利益と同じ要因
4. 親会社株主に帰属する当期純利益
  - a. 予想比▲35.5億円 ▲35.8%
  - b. 単体の投資有価証券評価損が拡大
  - c. SUNSCOの設備減損発生

【単位 百万円】

	2019年3月期 通期				2020年3月期 通期			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日本	104,694	62.5%	15,768	81.8%	101,407	65.5%	15,528	105.5%
北米	32,504	19.4%	2,553	13.3%	26,066	16.8%	▲ 1,527	▲ 10.4%
アジア	31,095	18.6%	699	3.6%	27,666	17.9%	476	3.2%
調整額	▲ 855	▲ 0.5%	246	1.3%	▲ 212	▲ 0.1%	235	1.6%
合計	167,438	100.0%	19,266	100.0%	154,926	100.0%	14,713	100.0%

# 連結営業成績 貸借対照表 前期対比

【単位 億円】

	2020/3月期通期		
	前期末	当期金額	差額
流動資産	1,657	1,694	+37.2
(現金及び預金)	608	838	+230.6
(受手・売掛金)	368	337	▲31.1
(棚卸資産)	332	279	▲53.8
(その他)	349	240	▲108.5
固定資産	1,554	1,407	▲146.2
(有形固定資産)	794	760	▲33.9
(無形固定資産)	16	13	▲3.4
(投資その他の資産)	744	635	▲108.9
資産合計	3,210	3,101	▲109.0
流動負債	366	363	▲3.3
(支手・買掛金)	191	223	+32.1
(短期借入金)	88	55	▲33.0
(未払法人税等)	27	16	▲11.0
(その他)	60	69	+8.6
固定負債	95	65	▲29.1
負債合計	461	428	▲32.5
純資産	2,749	2,673	▲76.5
(資本金)	96	96	+0.0
(資本剰余金)	159	159	+0.1
(利益剰余金)	2,561	2,550	▲10.2
(自己株式)	▲270	▲270	+0.4
(その他有価証券評価差額)	110	61	▲48.9
(為替調整勘定)	▲15	▲24	▲8.7
(退職給付にかかる調整額)	▲1	0	+0.9
(新株予約権)	2	2	+0.0
(非支配株主持分)	108	98	▲10.1
負債・純資産合計	3,210	3,101	▲109.0

流動資産増減要因							増減
現金及び預金	国内	+217.0億円	海外	+10.5億円	連結調整	+3.1億円	+230.6億円
受手・売掛金	国内	▲87.9億円	海外	▲3.2億円	連結調整	+59.9億円	▲31.1億円
たな卸資産	国内	+11.6億円	海外	▲58.0億円	連結調整	▲7.5億円	▲53.8億円
その他	子会社 NCD	▲92.8億円	その他	▲18.6億円	連結調整	+2.9億円	▲108.5億円

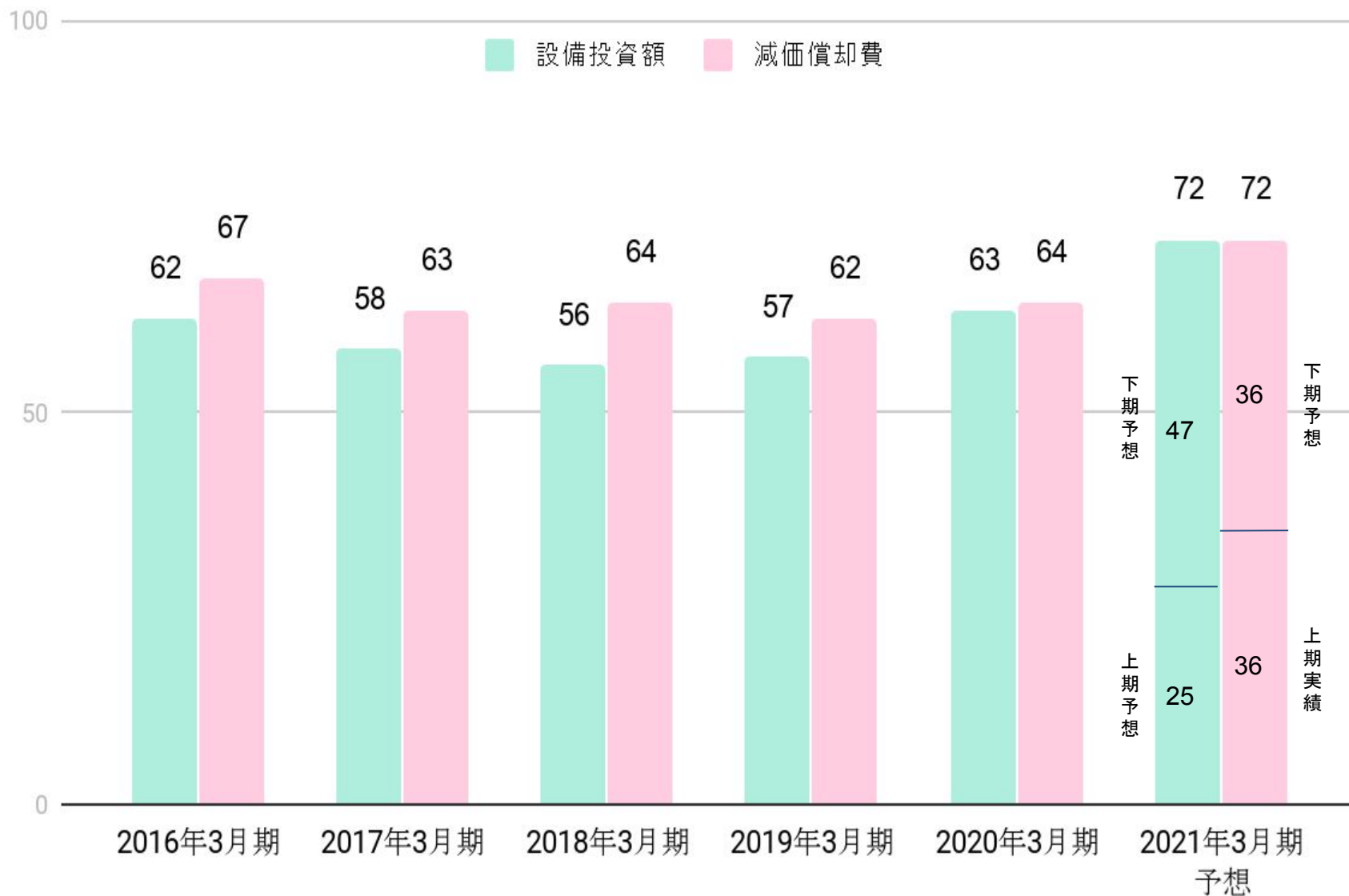
固定資産増減要因							増減
有形固定資産	丸一	▲3.5億円	国内子会社	+9.8億円	MOST	▲2.2億円	▲33.9億円
	MAC	▲2.9億円	MKK USA INC.	▲3.3億円	SUNSCO	▲45.2億円	
	KUMA	+0.7億円	MMX	▲0.5億円	連結調整	+13.1億円	
無形固定資産	丸一	+1.2億円	子会社	▲4.5億円	連結調整	+0.0億円	▲3.4億円
	投資その他の資産	国内	▲126.0億円	海外	▲0.3億円	連結調整	+17.3億円

流動負債増減要因							増減
支手・買掛金	国内	▲8.5億円	海外	▲17.8億円	連結調整	+58.4億円	+32.1億円
短期借入金	アルファメタル	▲0.7億円	SUNSCO	▲21.3億円	MKK USA INC.	▲9.4億円	▲33.0億円
	KUMA	▲2.0億円	MMX	▲1.6億円	連結調整	+2.0億円	
未払法人税等	丸一	▲9.3億円	子会社	▲1.7億円	連結調整	+0.0億円	▲11.0億円
その他	丸一	+7.0億円	子会社	▲2.2億円	連結調整	+3.8億円	+8.6億円

固定負債増減要因							増減
固定負債	丸一	▲22.6億円	国内子会社	+2.0億円	連結調整	▲0.1億円	▲29.1億円
	SUNSCO	▲6.2億円	KUMA	▲0.9億円	MKK USA INC.	▲0.0億円	
	MMX	+0.0億円	MAC	▲1.3億円	MOST	+0.0億円	

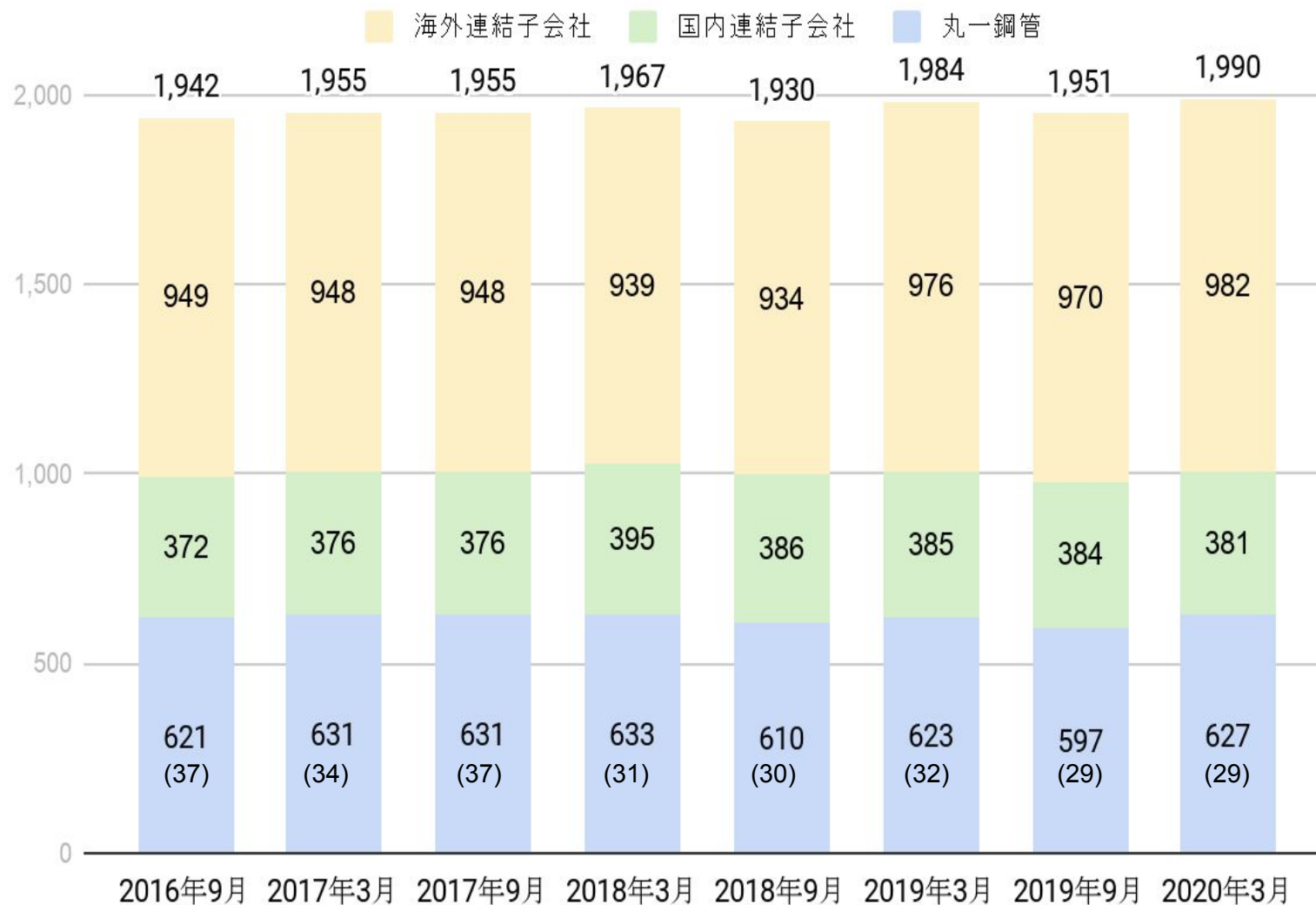
純資産増減要因							増減
利益剰余金	国内	▲2.4億円	海外	▲51.1億円	連結調整	+43.3億円	▲10.2億円
その他有価証券評価差額金	丸一	▲48.0億円	子会社	▲0.0億円	連結調整	▲0.9億円	▲48.9億円
為替調整勘定	18/12月末	111.00円/US\$	→	19/12月末	109.56円/US\$		▲8.7億円
非支配株主持分	MKK USA INC.	▲0.6億円			連結調整	▲9.5億円	▲10.1億円
その他		+10.1億円			連結調整	▲8.8億円	+1.3億円

【単位 億円】



# 従業員数の推移

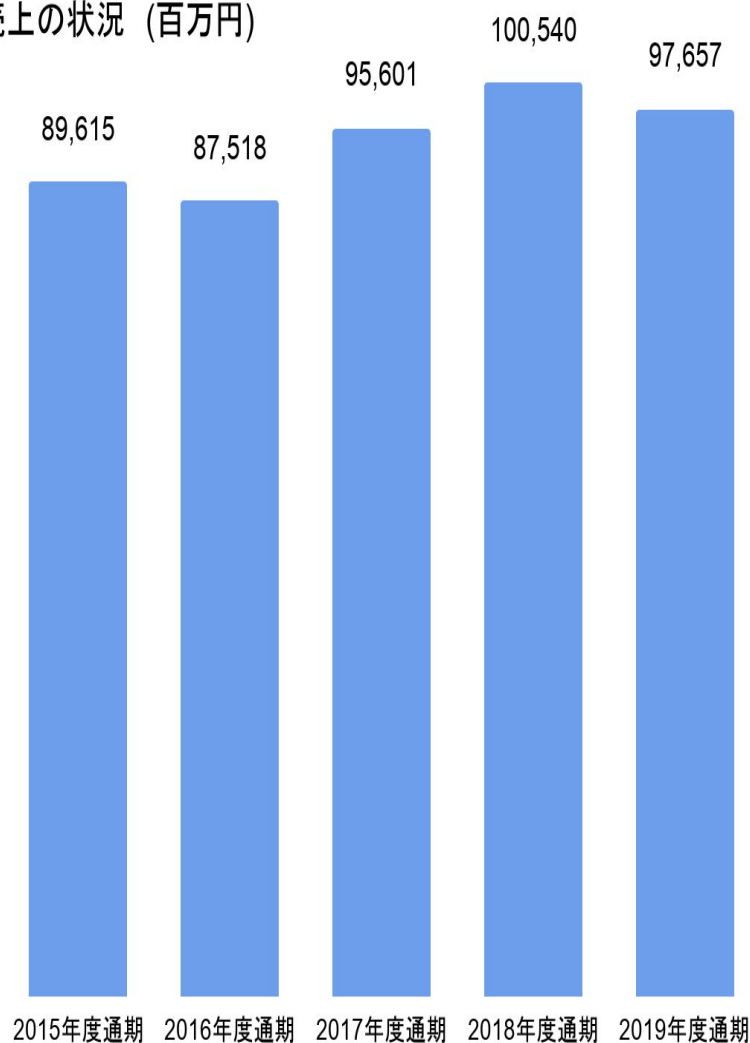
( )内は海外出向者



## Ⅱ . 2020年3月期 単体決算概要

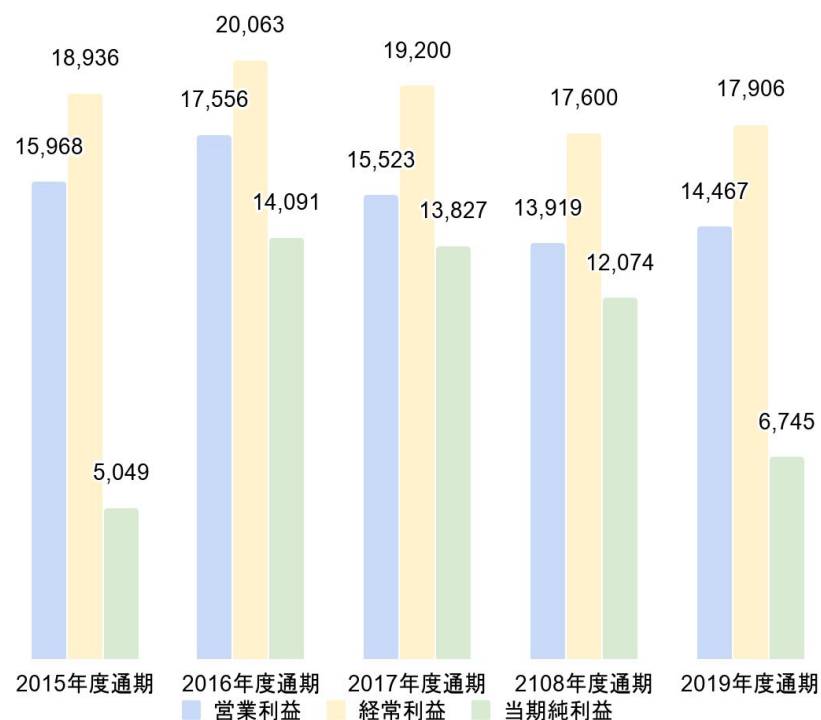
【単位 百万円】

売上の状況 (百万円)



	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	増減率	2月発表 通期予想	増減率
売上高	100,540	97,657	▲ 2.9%	97,700	▲ 0.0%
営業利益	13,919	14,467	+3.9%	14,100	+2.6%
経常利益	17,600	17,906	+1.7%	17,500	+2.3%
当期純利益	12,074	6,745	▲ 44.1%	11,000	▲ 38.7%

利益の状況 (百万円)



# 単体経営成績 損益計算書

	2016年3月期 通期		2017年3月期 通期		2018年3月期 通期		2019年3月期 通期		2020年3月期 通期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	89,615	100.0%	87,518	100.0%	95,601	100.0%	100,540	100.0%	97,657	100.0%
売上原価	67,193	75.0%	63,589	72.7%	73,616	77.0%	79,892	79.5%	76,243	78.1%
売上総利益	22,422	25.0%	23,928	27.3%	21,985	23.0%	20,647	20.5%	21,414	21.9%
販売費及び一般管理費	6,453	7.2%	6,371	7.3%	6,461	6.8%	6,727	6.7%	6,946	7.1%
営業利益	15,968	17.8%	17,556	20.1%	15,523	16.2%	13,919	13.8%	14,467	14.8%
営業外収益	3,463	3.9%	3,088	3.5%	4,140	4.3%	4,143	4.1%	3,850	3.9%
営業外費用	494	0.6%	582	0.7%	463	0.5%	462	0.5%	412	0.4%
経常利益	18,936	21.1%	20,063	22.9%	19,200	20.1%	17,600	17.5%	17,906	18.3%
特別利益	1,944	2.2%	195	0.2%	298	0.3%	308	0.3%	314	0.3%
特別損失	9,212	10.3%	368	0.4%	28	0.0%	853	0.8%	7,540	7.7%
税引前当期純利益	11,669	13.0%	19,890	22.7%	19,470	20.4%	17,055	17.0%	10,679	10.9%
法人税等	6,833	7.6%	5,888	6.7%	5,618	5.9%	5,141	5.1%	4,029	4.1%
法人税等調整額	▲ 213	▲ 0.2%	▲ 89	▲ 0.1%	24	0.0%	▲ 159	▲ 0.2%	▲ 94	▲ 0.1%
当期純利益	5,049	5.6%	14,091	16.1%	13,827	14.5%	12,074	12.0%	6,745	6.9%



# 単体経営成績 損益計算書 前期実績との差額要因

【単位 億円】

	2020年3月期 期末			
	前期	今期	増減	増減率
売上高	1,005.4	976.6	▲28.8	▲2.9%
営業利益	139.2	144.7	+5.5	+3.9%
(受取配当金・債券利息等)	27.2	24.9	▲2.3	
(家賃収入)	7.4	7.7	+0.3	
(ロイヤリティ収入)	4.3	4.0	▲0.4	
(その他営業外収益)	2.5	2.0	▲0.5	
(賃貸費用)	3.8	3.8	▲0.0	
(その他営業外費用)	0.8	0.3	▲0.5	
経常利益	176.0	179.1	+3.1	+1.7%
(投資有価証券売却益)	0.6	2.6	+2.0	
(固定資産売却益)	0.0	0.0	▲0.0	
(その他特別利益)	2.5	0.6	▲1.9	
(有価証券売却損)	0.0	3.9	+3.9	
(有価証券評価損)	5.8	69.6	+63.8	
(固定資産除去費・撤去費)	0.4	1.4	+1.0	
(その他特別損失)	2.3	0.5	▲1.8	
税金等調整前四半期純利益	170.6	106.8	▲63.8	▲37.4%
(法人税等)	49.8	39.3	▲10.5	
(法人税等調整額)	0.0	0.0	+0.0	
当期純利益	120.7	67.5	▲53.3	▲44.1%

売上高	増減
国内パイプ販売数量	▲38.7億円
国内パイプ販売単価	16.2億円
輸出パイプ販売数量	▲1.1億円
輸出パイプ販売単価	▲0.2億円
帯鋼販売数量	▲3.2億円
帯鋼販売単価	▲0.4億円
特品事業部	4.8億円
関連帯鋼	8.2億円
機械その他	▲14.4億円

営業利益	増減
総販売数量	▲6.6億円
総販売単価	18.8億円
(内国内パイプ単価要因)	(16.2億円)
売上原価	▲1.3億円
販売費及び一般管理費	▲5.4億円

経常利益	増減
営業利益より	5.5億円
受取配当金・有価証券利息等	▲2.3億円
その他営業外収益	▲0.6億円
営業外費用	0.5億円

税金等調整前四半期純利益	増減
経常利益より	3.1億円
投資有価証券売却益	2.0億円
固定資産売却益	▲0.0億円
投資有価証券売却損	▲3.9億円
投資有価証券評価損	▲63.8億円
固定資産除去費・撤去費	▲1.0億円
その他項目	▲0.1億円

四半期純利益	増減
税引前当期純利益より	▲63.8億円
法人税等	10.5億円
法人税等調整額	0.0億円

## 単体損益計算書 前期比較 増減要因

1. 売上高 97,657百万円
  - a. 前期比 ▲28.8億円 ▲2.9%
  - b. 総販売数量 820千トン  
前期比 ▲40.8千トン ▲4.3%
  - c. 数量減による減収 ▲47.6億円
  - d. 下期に入ってからオリンピック需要減等による建材需要減及び自動車販売台数減が主因
  - e. 総販売単価 +2.0%
  - f. 単価アップによる増収額+18.8億円
2. 営業利益 14,467百万円
  - a. 前期比+5.5億円 +3.9%
  - b. 前下期の製品価格値上げと今期の輸入コイル価格下落によりスプレッドが改善
  - c. 今下期の数量減による価格下落を最小限に抑制
  - d. 発送費+10.5%
3. 経常利益 17,906百万円
  - a. 前期比+3.1億円 +1.7%
  - b. 配当金減の内訳は、国内事業会社等▲0.7億円、海外事業会社及び関連会社▲1.5億円
  - c. 海外関連会社の数量減によりロイヤリティ▲0.4億円
4. 特別利益
  - a. 国内事業会社などで株式売却益+2.0億円
5. 特別損失
  - a. 神戸製鋼所などで株式売却損▲3.9億円
  - b. 高炉をはじめとする株式評価損▲33.7億円
  - c. SUNSCO株式評価損▲30.9億円
6. 当期純利益 6,745百万円
  - a. 前期比▲53.3億円 ▲44.1%

# 単体営業成績 損益計算書2月開示予想との差額主要因

【単位 億円】

	2020年3月期 期末			
	2月開示 期末予想	実績	差額	増減率
売上高	977.0	976.6	▲0.4	▲0.0%
営業利益	141.0	144.7	+3.7	+2.6%
経常利益	175.0	179.1	+4.1	+2.3%
税金等調整前 当期純利益	158.4	106.8	▲51.6	▲32.6%
当期純利益	110.0	67.5	▲42.5	▲38.7%

売上高	増減
国内パイプ販売数量	▲5.4億円
国内パイプ販売単価	+3.2億円
輸出パイプ販売数量	+0.3億円
輸出パイプ販売単価	+0.1億円
帯鋼販売数量	+0.4億円
帯鋼販売単価	▲0.1億円
特品事業部	+1.2億円
関連帯鋼	+0.3億円
機械その他	▲0.4億円

営業利益	増減
全体販売数量要因	▲0.7億円
全体販売単価要因	+4.7億円
売上原価	▲1.8億円
販管費	+1.5億円

経常利益	増減
営業利益より	+3.7億円
受取配当金・有価証券利息等	+0.3億円
その他営業外収益	+0.1億円
営業外費用	▲0.0億円

税引前利益	増減
経常利益より	+4.1億円
投資有価証券売却益	+0.5億円
固定資産売却益	+0.0億円
投資有価証券売却損	▲3.9億円
投資有価証券評価損	▲51.6億円
固定資産除去費・撤去費	▲0.9億円
その他	+0.2億円

四半期純利益	増減
税引前利益より	▲51.6億円
法人税等	+9.1億円
法人税等調整額	+0.0億円

## 単体損益計算書 2月予想との比較 増減要因

### 1. 売上高

- a. 予想比 ▲0.4億円 ▲0.0%
- b. 総販売数量 ▲4.3千トン ▲0.5%
- c. 数量減による減収額 ▲5.1億円
- d. 総販売単価 0.5%アップ
- e. 単価アップによる増収額  
+4.7億円
- f. 特品事業部 +1.2億円

### 2. 営業利益

- a. 予想比 +3.7億円 +2.6%
- b. 数量減を予想したことから、販売単価も下落を想定したが、価格維持に注力した結果予想比プラスとなった。

### 3. 経常利益

- a. 予想比 +4.1億円 +2.3%
- b. 配当金予想比 +0.3億円

### 4. 当期純利益

- a. 予想比 ▲42.5億円 ▲38.7%
- b. 国内事業会社などで株式売却益  
+0.5億円
- c. 神戸製鋼所などで株式売却損  
▲3.9億円
- d. 高炉をはじめとする事業会社株式評価損 ▲20.7億円
- e. SUNSCO株式評価損 ▲30.9億円

# 単体営業成績 貸借対照表 前期対比

【単位 億円】

	2020年3月期 通期		
	前期	今期	差額
流動資産	1,080.2	1,112.2	+32.0
(現金及び預金)	519.2	631.4	+112.2
(受手・売掛金)	360.0	287.2	▲72.8
(棚卸資産)	112.1	122.1	+10.0
(その他)	89.0	71.6	▲17.4
固定資産	1,341.0	1,213.5	▲127.5
(有形固定資産)	434.2	430.6	▲3.5
(無形固定資産)	2.2	3.4	+1.2
(投資その他の資産)	904.7	779.5	▲125.2
資産合計	2,421.2	2,325.7	▲95.5
流動負債	222.8	203.7	▲19.1
(支手・買掛金)	166.2	149.3	▲16.8
(未払法人税等)	23.5	14.3	▲9.3
(その他)	33.1	40.1	+7.0
固定負債	57.1	34.5	▲22.6
負債合計	279.9	238.2	▲41.7
純資産	2,141.3	2,087.5	▲53.8
(資本金)	96.0	96.0	+0.0
(資本剰余金)	147.3	147.4	+0.1
(利益剰余金)	2,063.6	2,057.3	▲6.3
(自己株式)	▲270.5	▲270.1	+0.4
(その他有価証券評価差額)	103.0	55.1	▲48.0
(新株予約権)	1.9	1.9	+0.0
負債・純資産合計	2,421.2	2,325.7	▲95.5

流動資産

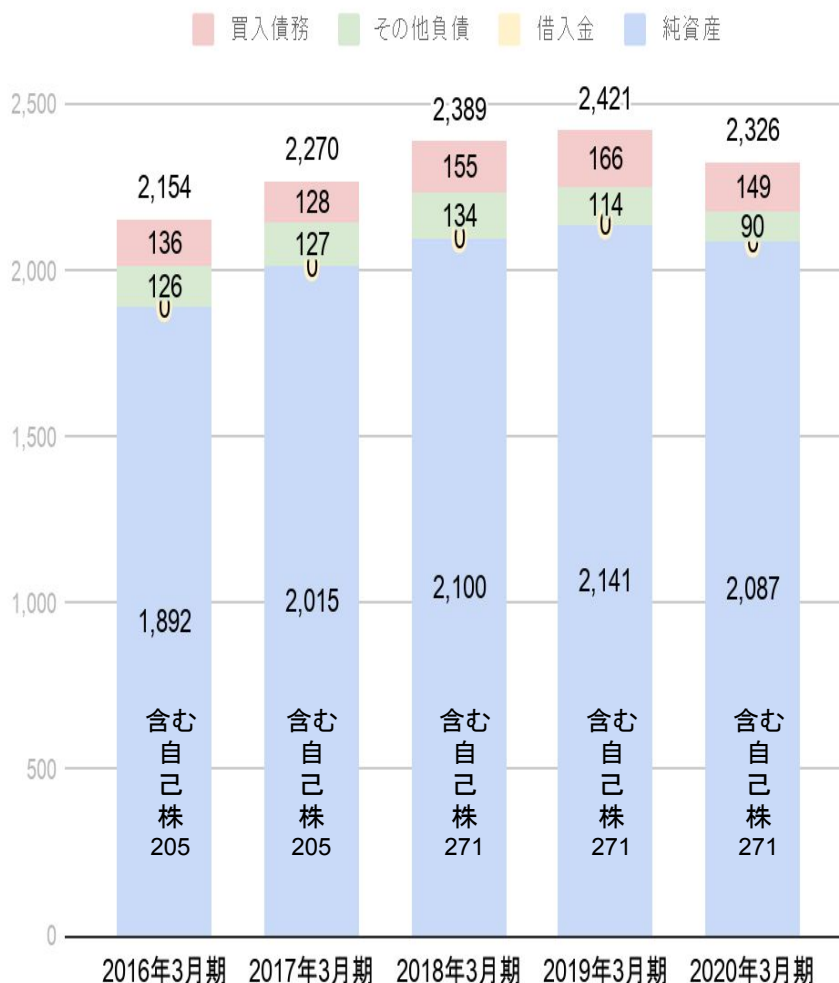
現金及び預金	+112.2億円					
税前利益	+106.8億円	減価償却	+26.4億円	投有評価損	+69.6億円	
株式関連	+11.5億円	債券関連	+37.2億円	運転資金	+50.4億円	
配当・納税	▲122.8億円	設備投資	▲25.5億円	関係会社株式	▲6.8億円	
売上債権	▲72.8億円	その他	+10.4億円			
受取手形	▲1.3億円	売掛金	▲71.4億円			
電債						
たな卸資産	+10.0億円					
製品	+5.6億円	原材料	+3.0億円	貯蔵品他	+1.3億円	
その他	▲17.4億円					
NCD	+0.0億円	その他	▲17.4億円			
固定資産						
有形・無形固定資産	▲2.3億円					
新規投資	+24.1億円	減価償却	▲26.4億円			
投資その他の資産	▲125.2億円					
投資有価証券評価差額金	▲69.8億円	株式関係	▲4.8億円	債券関係	▲26.4億円	
投資有価証券評価損	▲69.6億円	投信関係	+41.0億円	その他	+4.3億円	
流動負債						
支手・買掛金	▲16.8億円					
支手電債	▲5.0億円	買掛金	▲11.9億円			
その他	+7.0億円					
設備未払・設備支手		+3.7億円	その他	+3.3億円		
固定負債						
固定負債	▲22.6億円					
退職給付引当金		+0.1億円	繰延税金固定負債	▲22.8億円	その他	+0.0億円
純資産						
利益剰余金	▲6.3億円					
当期純利益	+67.5億円	配当金	▲40.6億円	中間配当金	▲33.1億円	
その他有価証券評価差額金	▲48.0億円					
債券・投信	▲4.0億円	上場株式	▲32.5億円	海外上場株式	▲11.5億円	

【単位：億円】

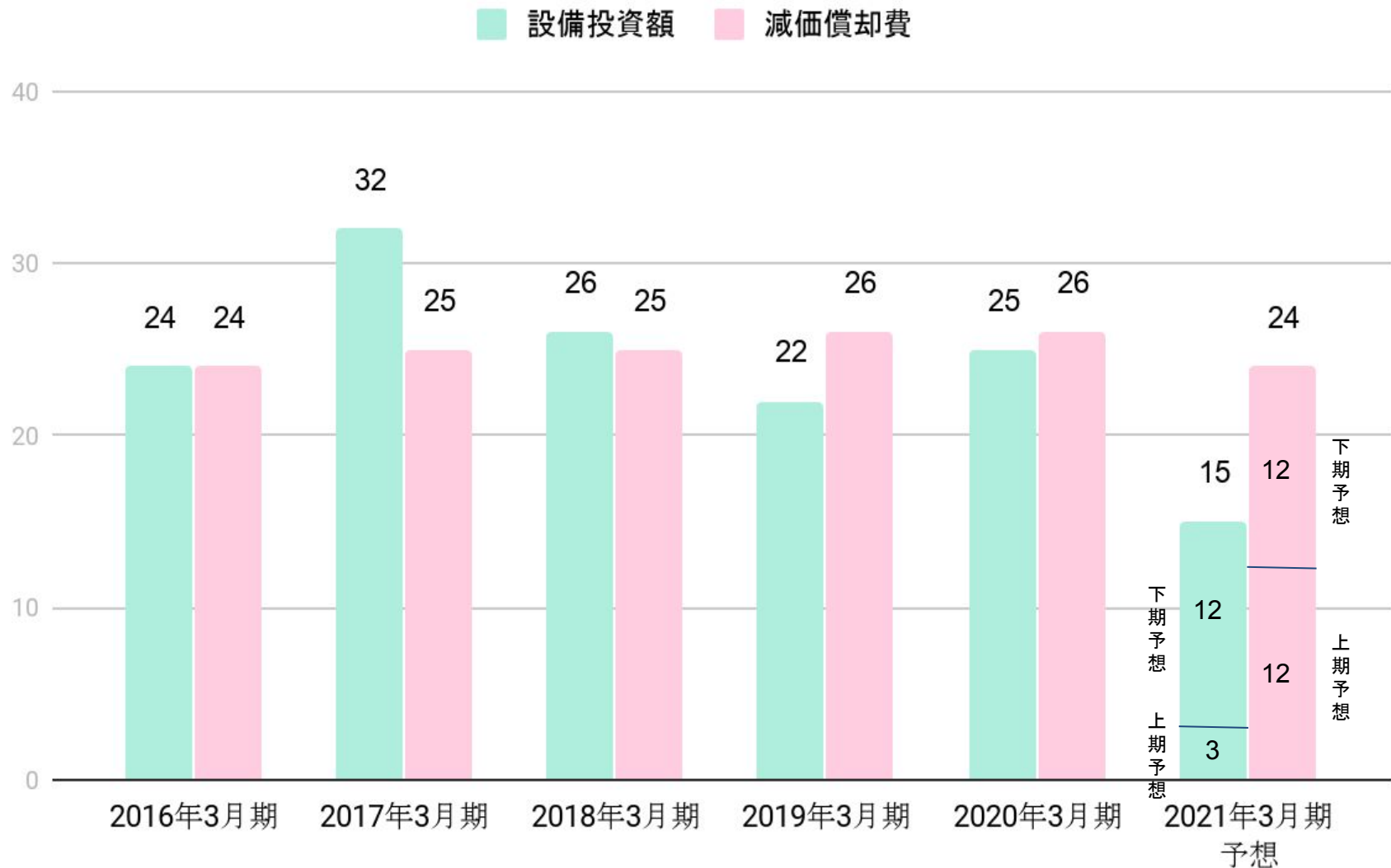
## 資産



## 資産及び純資産



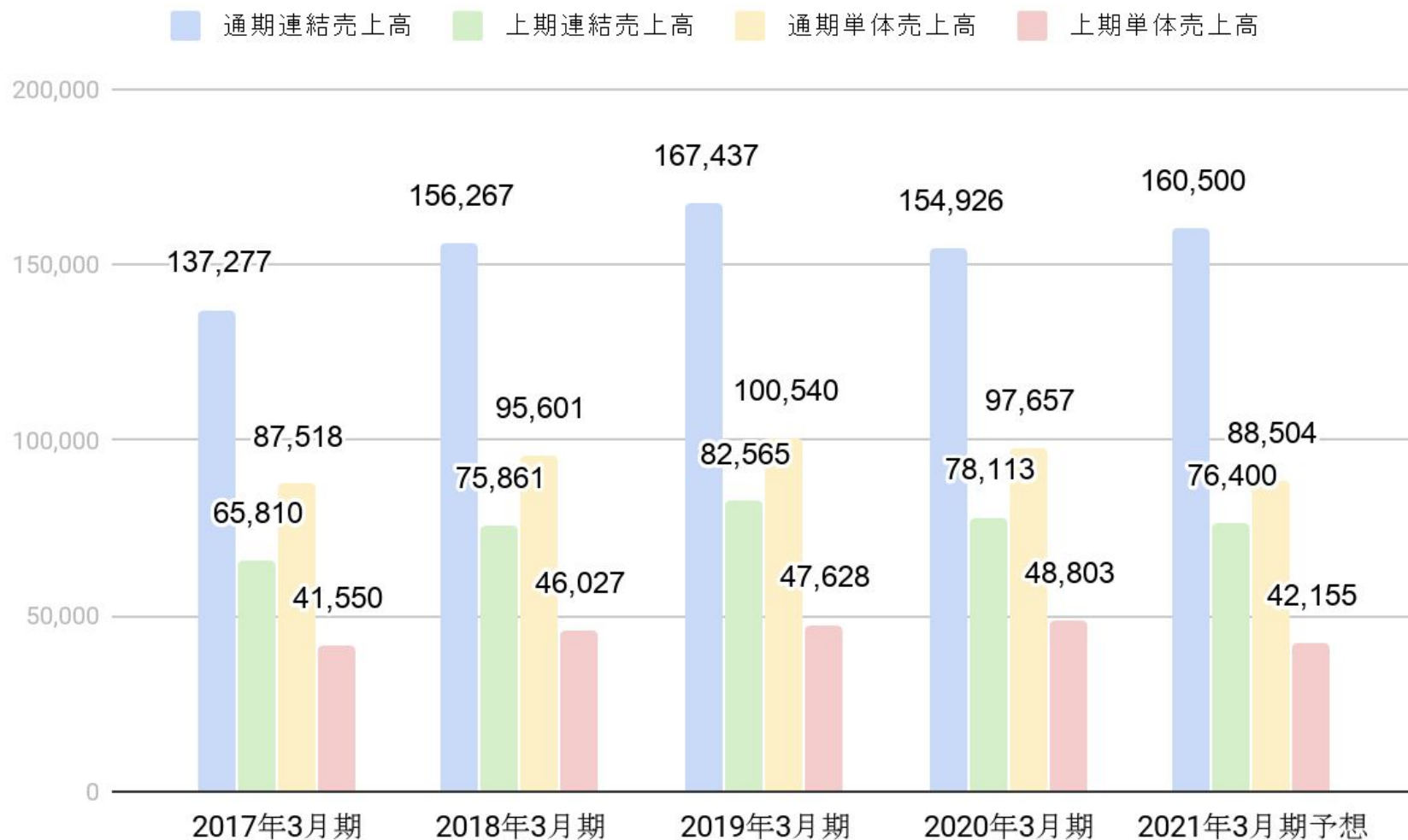
【単位: 億円】



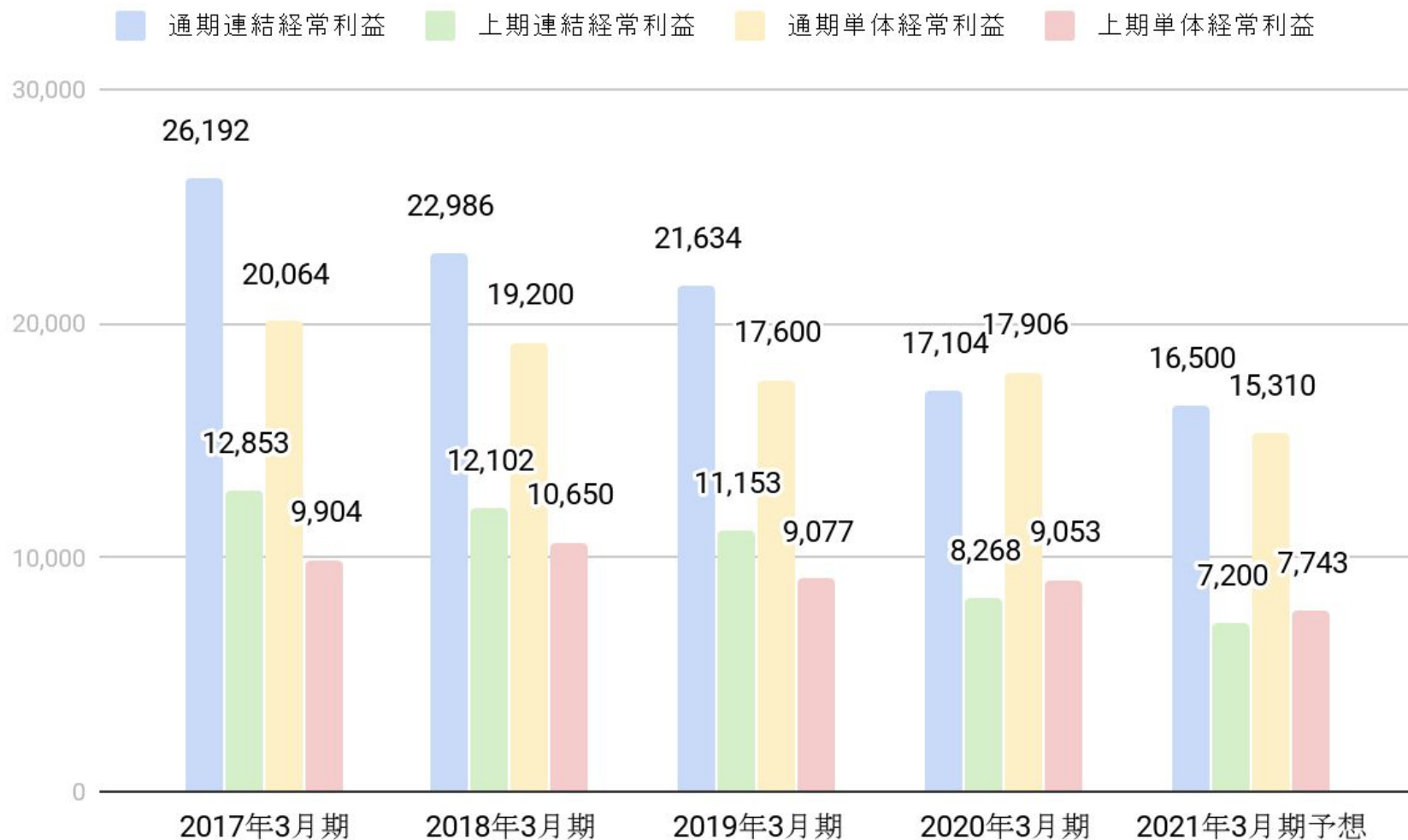
## Ⅲ. 2021年3月期 業績予想



【単位：百万円】



【単位:百万円】



【単位 百万円】

	2020年3月期 実績				2021年3月期 予想			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日本	101,407	65.5%	15,528	105.5%	118,786	74.0%	14,135	92.4%
北米	26,066	16.8%	▲ 1,527	▲ 10.4%	20,798	13.0%	▲ 472	▲ 3.1%
アジア	27,666	17.9%	476	3.2%	25,801	16.1%	1,590	10.4%
調整額	▲ 212	▲ 0.1%	235	1.6%	▲ 4,885	▲ 3.0%	47	0.3%
合計	154,926	100.0%	14,713	100.0%	160,500	100.0%	15,300	100.0%

連結決算予想	2021年3月期予想				2020年3月期 実績	通期予想 前年実績比
	上期予想	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	76,400	84,100	160,500	—	154,926	3.6%
営業利益	6,500	8,800	15,300	9.5%	14,713	4.0%
経常利益	7,200	9,300	16,500	10.3%	17,105	▲3.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,400	6,100	10,500	6.5%	6,355	65.2%

単体決算予想	2021年3月期予想				2020年3月期 実績	通期予想 前年実績比
	上期予想	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	42,155	46,349	88,504	—	97,658	▲9.4%
営業利益	5,686	6,886	12,572	14.2%	14,468	▲13.1%
経常利益	7,743	7,567	15,310	17.3%	17,907	▲14.5%
当期純利益	5,353	5,217	10,570	11.9%	6,745	56.7%

# 連結主要会社別予想 2021年3月期

【単位:百万円】



	2021年3月期 上期予想								2021年3月期 通期予想								
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		
		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比	
丸一鋼管	42,155	▲6,648	5,686	▲1,012	7,743	▲1,310	5,353	492	丸一鋼管	88,504	▲9,154	12,572	▲1,896	15,310	▲2,597	10,570	3,825
M A C	2,925	▲983	▲56	155	▲24	129	▲24	129	M A C	6,179	▲1,194	▲27	538	37	476	37	358
MKK USA INC.	4,587	▲1,880	▲175	66	▲134	152	▲134	130	MKK USA INC.	9,187	▲2,580	▲401	154	▲320	286	▲320	234
M O S T	1,688	▲548	▲150	282	▲168	273	▲168	273	M O S T	3,500	▲1,098	▲155	531	▲181	463	▲181	463
M M X	825	▲417	1	▲173	33	▲139	▲43	▲139	M M X	1,932	▲670	111	▲300	143	▲243	39	▲220
SUNSCO (含 Hanoi)	10,110	▲1,185	518	518	451	557	441	564	SUNSCO (含 Hanoi)	22,304	▲344	1,430	1,383	1,283	1,162	1,256	4,510
K U M A	911	▲1,891	▲56	▲129	▲57	▲140	▲42	▲129	K U M A	3,497	▲2,085	160	▲120	156	▲110	117	▲110
コベルコ鋼管	13,522	13,522	519	519	480	480	321	321	コベルコ鋼管	25,351	25,351	1,124	1,124	1,000	1,000	477	477
アルファメタル	1,037	▲1,298	▲47	▲34	▲26	▲38	▲26	▲37	アルファメタル	2,852	▲1,785	▲34	▲6	9	▲18	9	▲9
その他国内子会社	35,350	▲7,488	268	▲315	544	▲331	375	▲536	その他国内子会社	69,900	▲12,607	473	▲484	771	▲501	533	▲665
持分法損益	—	—	—	—	9	▲136	9	▲136	持分法損益	—	—	—	—	188	▲252	188	▲252
のれん代	—	—	0	0	—	—	—	—	のれん代	—	—	0	0	—	—	—	—
連結調整	▲36,710	7,101	▲8	▲342	▲1,651	▲565	▲1,662	▲513	連結調整	▲72,706	11,739	47	▲337	▲1,896	▲272	▲2,225	▲4,466
合計	76,400	▲1,714	6,500	▲465	7,200	▲1,069	4,400	418	合計	160,500	5,574	15,300	587	16,500	▲605	10,500	4,145

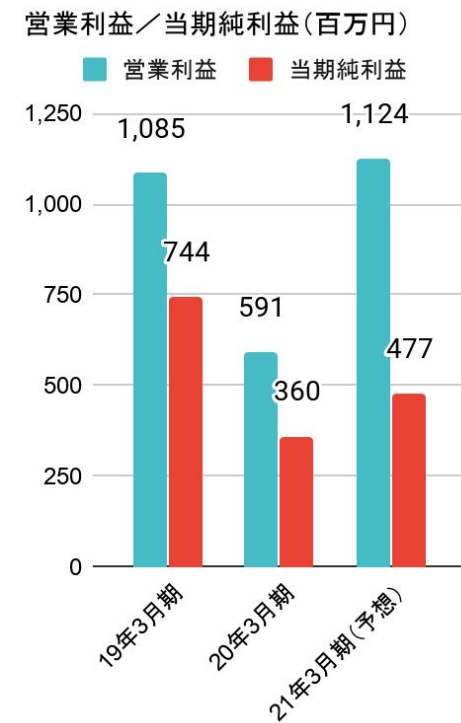
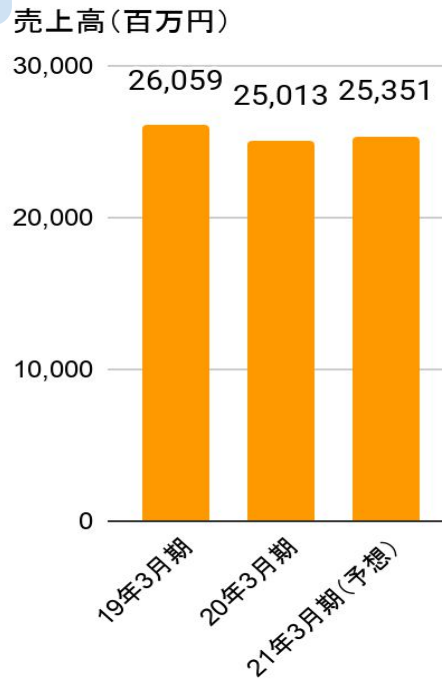
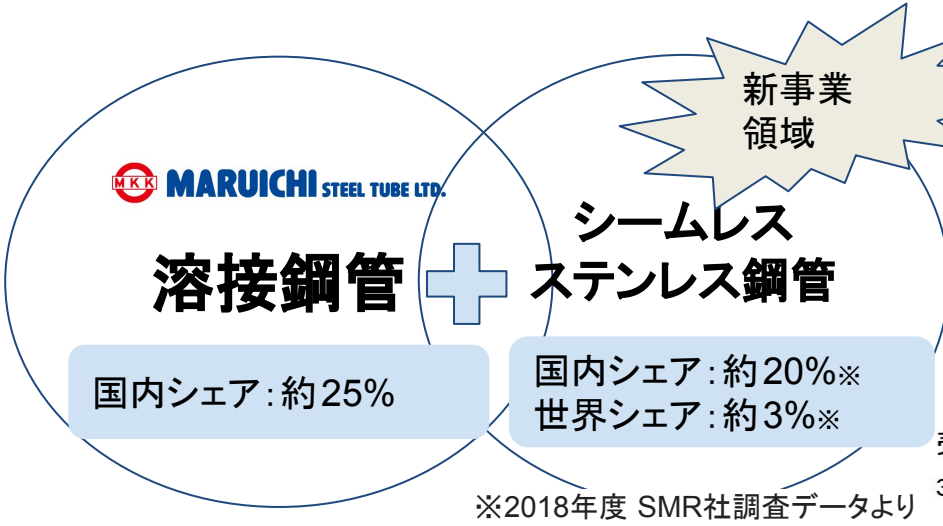
## IV. 第5次中期経営計画の進捗状況

# ■鋼管事業領域の拡大(ステンレスシームレス鋼管事業)

コベルコ鋼管の株式100%を取得(4/1)し丸一ステンレス鋼管へ社名変更(6/1予定)

◆コベルコ鋼管の概要および直近3か年の業績

所在地	下関本社/事業所：山口県下関市長府港町13番1号 (ほかに東京本社、大阪支社あり)
資本金	42億5000万円
従業員数	364名(2020年3月末時点)

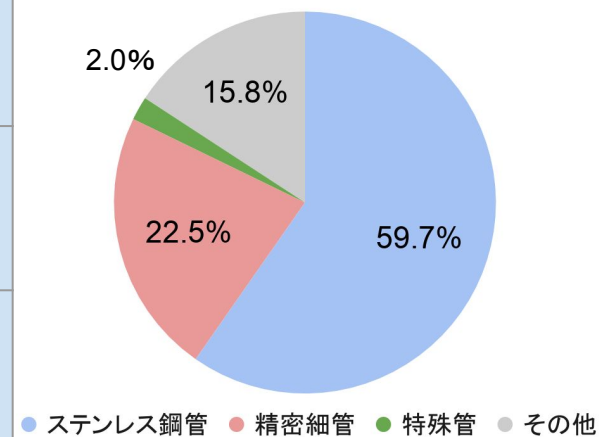


**買収のねらい：**  
 従来丸一鋼管が培ってきた高周波溶接技術とは異なる、シームレス鋼管製造ノウハウをもつコベルコ鋼管の加入により、事業領域のさらなる拡大と事業交流等によるシナジー効果により、鋼管のリーディングカンパニーとしての地位確立に貢献する

### ◆コベルコ鋼管の事業領域

ステンレス シームレス鋼管	配管用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学工業用配管</li> <li>・半導体製造用配管</li> </ul>
	熱交換器用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学工業用鋼管</li> <li>・発電用鋼管</li> </ul>
	引抜き素管 産業機械用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引抜き用素管</li> <li>・機械構造用鋼管</li> </ul>
	ボイラーチューブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電用ボイラーチューブ</li> </ul>
精密細管 (高度な平滑面と洗浄度を有する ステンレスシームレス鋼管)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体ガス配管</li> <li>・水素ガスステーション用 配管</li> <li>・自動車エンジン噴射管</li> </ul>
特殊管		<ul style="list-style-type: none"> <li>・超薄肉管</li> <li>・二重管</li> <li>・異形管</li> </ul>

製品別売上高比率(2019年度)



精密細管



## 2020年2月 インドKUMA社 グジャラート工場新設工事完了

成長著しいインド市場におけるKUMA社の生産能力拡大及びスズキモーター  
グジャラートやホンダ二輪工場の進出で成長が見込まれるグジャラートエリア  
をカバーする事を目的とし設立

→当面はパイプ切断工場として稼働するが、将来的にはパイプの製造も予定。



所在地	インド グジャラート州 アーメダバード GIDC工業団地内
敷地面積	182,418㎡
従業員数	5名(2020年3月末時点)
設備	切断機3台
目的	四輪二輪向け生産体制の増強

## フィリピンMPST社 開業式(2019年7月)

2019年7月に開業式を実施  
サンプル生産⇒承認のとれたものから日系二輪メーカー向け  
商業生産を開始

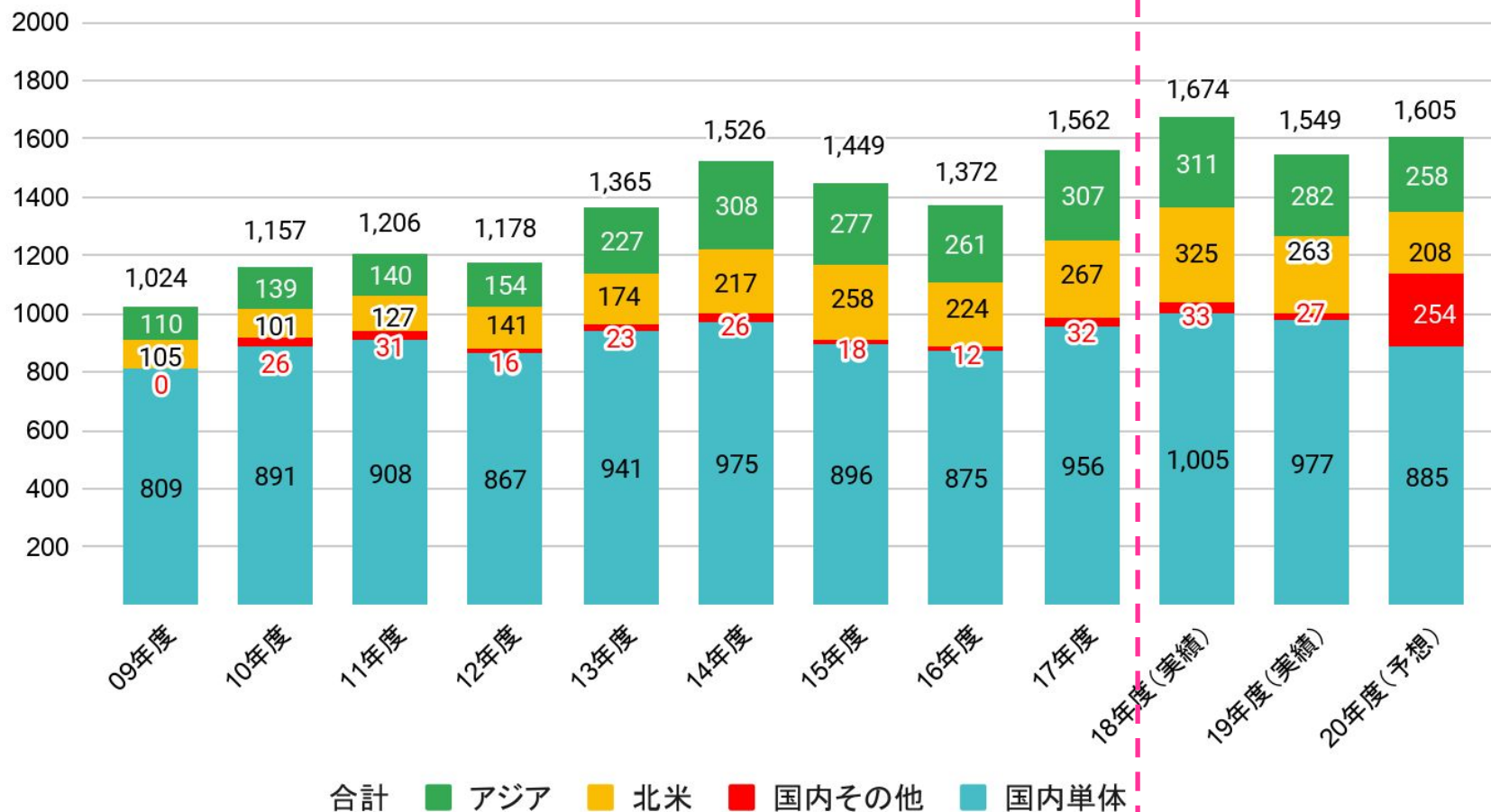


所在地	フィリピン バタンガス州
設立	2018年2月
従業員数	20名(2020年3月末時点)

# 第5次中期経営計画の進捗状況(数値目標)

目標達成	第4次中期経営計画 最終年度	第5次中期経営計画			
	2017年度 実績	2018年度 (実績)	2019年度 (目標)	2019年度 (実績)	2020年度中計目標 (※2018/3発表) (2020年度予想)
売上高 (億円)	1,562	1,674	1,700	1,549	1,750 (1,605)
営業利益 (億円)	208	192	196	147	240 (153)
営業利益率	13.3%	11.5%	11.5%	9.5%	13.7% (9.5%)
ROE	6.2%	5.5%	5.5%	2.4%	6.5% (4.0%)
株主還元率	80.5% (3年平均)	50.7%	50.0%	129.6%	50.0% (50.6%)
社会貢献 (百万円)	22 (3年平均)	25	30	38	30 (26)

## 売上高推移(億円)

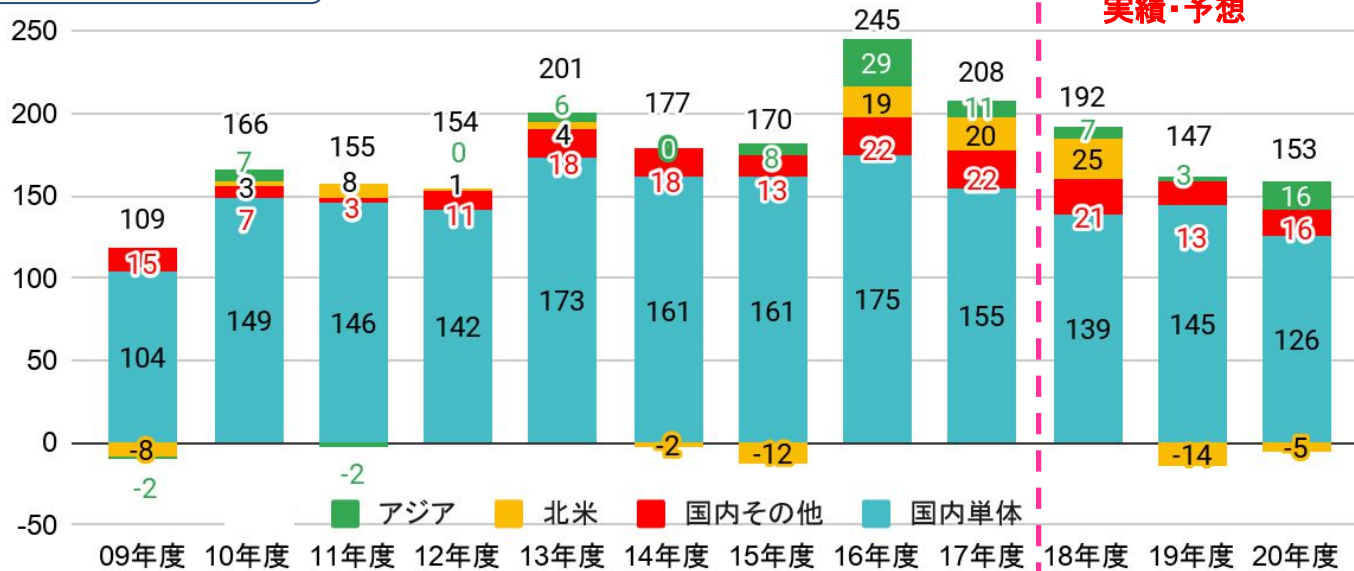


第5次中期計画期間  
実績・予想



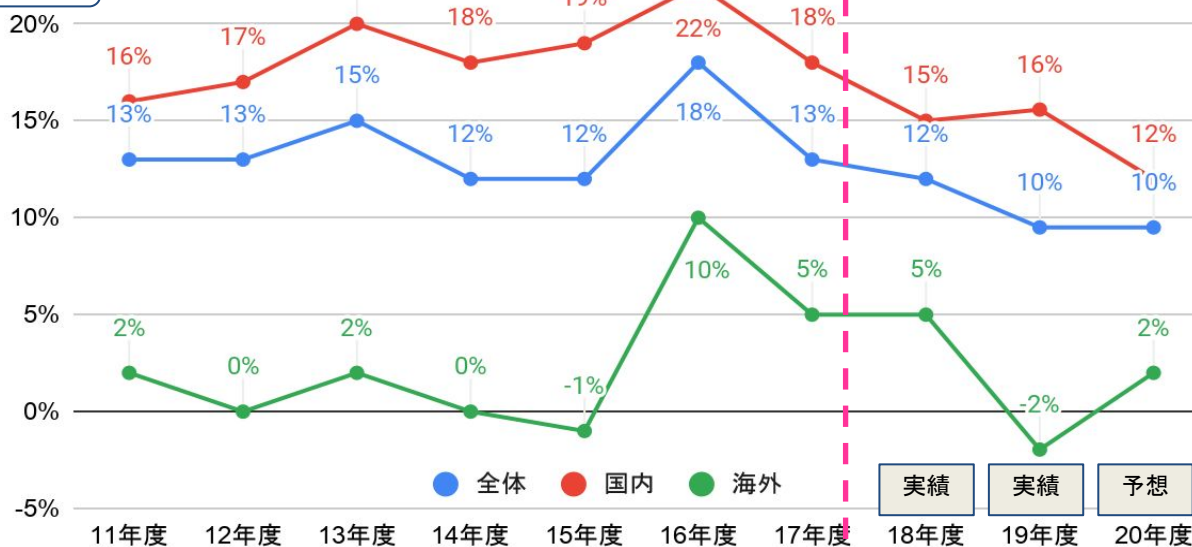
# 営業利益目標と進捗状況

営業利益推移(億円)



第5次中期計画期間  
実績・予想

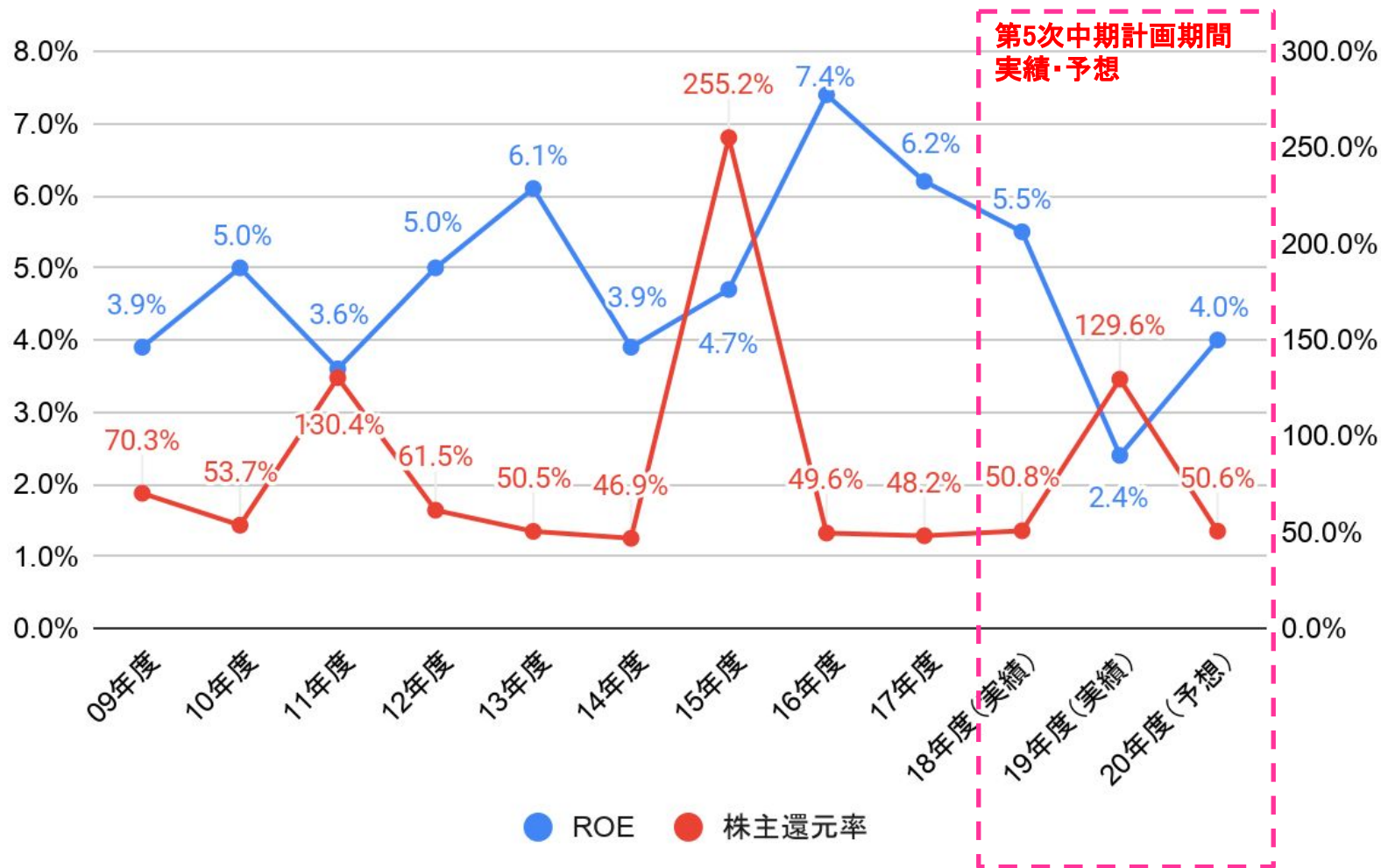
営業利益率推移(%)



# 資本政策目標と進捗状況

第5次中期経営計画の目標(2018年3月発表時点)

- 株主還元率(2018年度・2019年度・2020年度)⇒ 50.0%
- ROE目標:2018年度⇒5.3%、2019年度⇒5.5%、2020年度⇒6.5%



※支払ベース(単位:億円)

		中計 3ヶ年計 <small>※2018/3発表</small>	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 予想
設備投資合計		210	57	63	72
国内 グループ	設備投資	130	31	47	54
	減価償却	107	32	34	42
海外 グループ	設備投資	80	26	16	18
	減価償却	109	30	30	30

		2020年度（単位：億円）	
		予想	
国内 グループ	設備投資	54	
	減価償却	42	

案件	予算 総額	既支払額	2020年度 予算額	完成時期
2020年度以降 完成予定				
九州工場 第4工場建設、カラー塗装ライン・C型鋼ミル新設	11.1	6.6	4.8	2020/6予定
丸一鋼販 浜松営業所 寸法切り工場新設	12.2	5.4	6.8	2020/12予定
苫小牧工場 第1工場増築、カラー塗装ライン新設	14.9	2.9	11.1	2021/3予定
丸一鋼販 四国営業所 倉庫新設・コラム切断開先機新設	5.8	-	4.6	2021/3予定
コベルコ鋼管 新製品量産化費用・検査設備増強等	7.4	-	7.4	2021/3予定
丸一鋼販 岡山営業所 倉庫増設・コラム切断開先機新設	2.7	-	0	2021/4予定
東京工場 11、12号機ミル電気品更新	2	0.5	0.4	2022/1予定



		2020年度（単位：億円）
		予想
海外 グループ	設備投資	18
	減価償却	30

（単位：億円）

案件	予算総額	既支払額	2020年度 予算額	完成時期
2020年度以降 完成予定				
アメリカMAC社 3号機ミル電気品更新	1.4	-	1.4	2020/8予定
ベトナムSUNSCO社 第2冷延ミル新設	28.1	4.7	13.6	2021/6予定

## 国内での取り組み

課題と主要施策	取組実績
①高収益体質の維持、営業力の更なる強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京工場2号機製管機更新(2018年6月)</li> <li>・丸一鋼販(株)新潟営業所移転(2019年3月)</li> <li>・東京工場スリッター更新(2019年5月)</li> <li>・堺工場SR加熱機更新(2019年5月)</li> <li>・コベルコ鋼管株式会社の買収(2020年4月)</li> </ul>
②人手不足時代への対応と生産性の向上	P43を参照
<ul style="list-style-type: none"> <li>・IoTやAIを活用した生産、事務の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社含むグループ4拠点の統合、移転</li> <li>・採用HP、採用リーフレットのリニューアル</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性人材、外国人の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業早期復職サポート制度の拡充</li> <li>・外国人留学生の採用(2018年度実績:1名)</li> <li>・外国人技能実習生の受け入れ (2019年度実績:堺工場2名、東京工場2名 2020年度:詫間工場4名、堺工場2名、東京工場2名予定)</li> <li>・SUNSCO社技能職社員の受け入れ (2019年度実績:東京工場2名 2020年度:名古屋工場2名、東京工場2名予定)</li> </ul>

2018年度

2019年度

2020年度

### 製造ライン稼働データ連携による、機械停止要因記録作成の自動化

堺工場1号機 (導入済)

堺工場全ライン (導入中)

東京工場2号機、11号機 (導入中)

名古屋工場全ライン (導入中)

四国工場7号機、九州工場3号機 (導入中)

### 効率的な設備保守・予防保全を目的とした設備保全システムの導入

- ・製造設備のメンテナンスを記録した作業日報をデジタル化、データを元に分析
- ・設備台帳を作成し、設備予備品の全社共有管理を実施

堺工場・東京工場・名古屋工場 で導入中

### AI・RPAを活用した事務の効率化

新給与計算システム導入済

定型的な事務業務へのRPA導入中

環境関連帳票作成の自動化

## 海外での取り組み

### 課題と主要施策

### 取組実績

①米国3社:新設/更新設備の活用、販売力の一層の強化による業容拡大

- ・MOST社新工場建設、2インチミル新設
- ・Leavitt社寸法切り設備新設、2インチミル更新
- ・MAC社2インチミル更新

②SUNSCO(HCM)社:パイプを中心とした国内営業力の強化と設備稼働率/歩留りの改善による一層のコスト削減と黒字体質の定着

- ・国内販売人員の拡充と代理店数の拡大に注力中
- ・全社を挙げた製造コスト削減のための取り組み強化
- ・ベトナム人留学生を本社採用→日本での研修後派遣

③自動車/二輪関係:各国での生産拡大に対応した設備投資の実施と営業力の強化

- ・フィリピンMPST社 竣工式実施(2019年7月)
- ・インドKUMA社3拠点目となるGujarat工場新設完了(2020年2月)

④優秀な現地人材の確保と一層のレベルアップ・本社派遣者から現地人材への交代促進

- ・引き続き海外各社で、生産及び営業の現地幹部の養成に注力

⑤海外収益の配当/Royalty等での国内への利益還元強化

- ・2018年度受取配当/Royalty発生額:US\$10.2m
- ・2019年度受取配当/Royalty発生額:US\$8.2m

## 国内外共通の取り組み

### 課題と主要施策

### 取組実績

①より一層の環境への配慮、エネルギー効率の向上、安全への対応強化

P49を参照(丸一鋼管グループのSDGsへの取組実績)

②労働時間及び人件費あたりの労働生産性の向上

- ・国内基幹工場にて、生産ラインや設備メンテナンスにおけるIoT技術を活用したシステムの運用を開始
- ・老朽化ラインの更新を進め、生産性と安全性の向上に効果を発揮

③国内外でのM&Aを含めた事業投資の積極的な検討

- ・コベルコ鋼管株式会社(2020年6月～丸一ステンレス鋼管株式会社)の買収

## 株主重視政策及び社会貢献方針の堅持

課題と主要施策	実績
①配当方針:「単体経常利益×(1－法人 実行税率)×50%」の堅持	P47を参照
②配当実施後の単体純利益の0.5%程度の 社会貢献支出の継続	2018年度配当実施後の単体純利益:5,944百万円 2018年度社会貢献支出:25百万円 2019年度単体純利益:6,745百万円(配当実施額8,740百 万円) 2019年度社会貢献支出:38百万円
③国内外での社会貢献の強化  国内 :文化芸術、スポーツ、医療、 教育、自然環境保護分野への貢献  新興国:貧困撲滅、健康医療、 教育振興への貢献強化	P53を参照

## 株主重視政策及び社会貢献方針の堅持

### ①配当方針の堅持

- ・ 個別損益計算書におけるみなし当期利益(※)の**50%**相当を年間配当とする  
 ※みなし当期利益: 経常利益 × (1 - 実効税率)
- ・ 一株あたり最低年間配当額は**50円**を維持

(参考) 配当の実施状況

(単位: 百万円 ※()内は1株あたり配当、単位: 円)

				自社株買 株数/金額	当期純利益 (単体)	配当性向 (単体)	総還元率 (単体)	ROE (連結)
	中間配当額	期末配当額	年間配当額					
2019年3月期	(25.00) 2,071	(49.00) 4,059	(74.00) 6,130		12,074	50.8%	50.8%	5.4%
2020年3月期	(40.00) 3,314	(65.50) 5,426	(105.50) 8,740	記念配当実施	6,745	129.6%	129.6%	2.4%
2021年3月期予想	(25.00) 2,071	(39.50) 3,273	(64.50) 5,344		10,570	50.6%	50.6%	4.0%
2021年3月期目標 (第5次中計最終年度)					14,200	50.0%	50.0%	6.5%

・ 自己株式取得 2015年7月 100万株、2016年1月 100万株

### ●記念配当の実施

2018年3月に創立70周年を迎えたことへの感謝と  
 今後100年企業に向けて株主の皆様と共有する新たな  
 価値創造に取り組むとの方針の下記念配当を実施予定

	2020年3月期	普通配当	記念配当
中間		25円00銭	15円00銭
期末		50円50銭	15円00銭
計		75円50銭	30円00銭

## 本業を通じた丸一鋼管のSDGsへの貢献

### 製品そのものによる価値創出

① 住み良いサステナブルな街づくり



② 安全で便利な輸送・物流手段の提供



③ 豊かな食生活を支える農業資材の提供



### 企業活動にともなう価値創出

① 雇用の創出と人々の能力開発



② グローバルパートナーシップの構築



③ 製造工程における排熱・スクラップの再利用



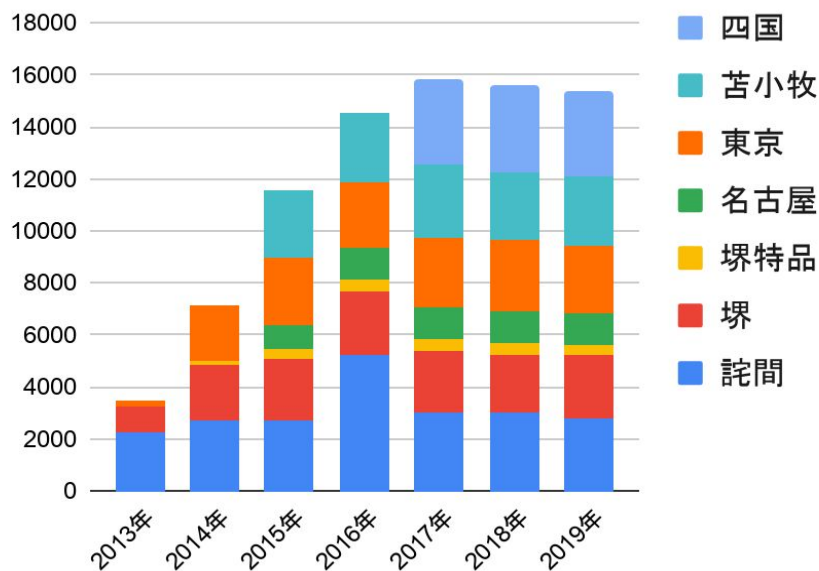
## 本業によるSDGs実現のために解決すべき重要課題(マテリアリティ)

カテゴリ	人材・働き方 <span>S</span>	環境への配慮 <span>E</span>	ガバナンス <span>G</span>	社会貢献活動 <span>S</span>
重要課題	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	地球環境の保全	経営の公平性・透明性の確保	文化活動への協賛・支援
	人事評価制度、教育制度改革	循環型社会形成	内部統制の強化	スポーツ活動推進
	採用方針	労働安全衛生	BCPの整備・更新	地域社会への貢献
	業務効率化、生産性向上	人権の保護	環境配慮型製品への移行	グローバルコミュニティへの貢献
関連するSDGs				



再生可能エネルギーの活用(メガソーラー事業)

・全国各地(国内7工場10拠点)の拠点に太陽光発電設備を設置



※2017年度より詫間工場と四国工場を分割計上



今回更新

温暖化防止施策

パリ協定(2015年COP21にて採択)に沿って、2013年度比削減を実行中

2013年度を基準とする2018年度削減率

- ・CO2排出量 **1.5%削減**
- ・エネルギー原単位※ **2.3%削減**

※原油換算エネルギー使用量÷生産量

(これまでの取り組み実績)

- ・溶接設備の省エネタイプへの更新
- ・廃熱利用設備の導入
- ・モーターのインバーター制御化
- ・高効率変圧器やLEDなどの省エネ機器採用
- ・省エネ会議の毎月開催

「環境マネジメント委員会」を発足

ISO14001における環境委員会をベースとし、地球環境保全、廃棄物削減/3R、公害対策、化学物質管理、生物多様性保全 を課題として全社に展開

本社における、来客用プラスチックカップ・ペットボトル削減の取り組みを通して「Plastics Smart」に登録



## ダイバーシティ推進に関する取り組み

### ベトナム人技能実習生の受け入れ

2019年度 堺工場2名、東京工場2名

2020年度 4名受け入れ予定

### グローバルビジネス研修の実施

海外出向予定者など対象に、異文化コミュニケーションについての研修を実施

### 女性活躍推進

- ・女性社員向け研修会
- ・男性管理職向け研修会
- ・女性が積極的に働き続けられる環境の整備(育児支援・復職支援制度)

## 労働安全衛生に関する取り組み

### メンタルヘルスへの配慮

- ・管理職・監督職を対象とした研修
- ・ストレスチェックの実施
- ・高ストレス者へのフォロー体制の整備

### 時間外労働改善委員会の設置



### 外国人留学生の採用

2018年度: 中国人 1名

### ベトナムSUNSCO社 技能職社員の受け入れ

2019年度 東京工場2名

2020年度 8名受け入れ予定

### LGBTへの理解

国内グループ全社員対象の  
コンプライアンス研修内で  
取り上げ

### 安全教育の充実

- ・安全教育部の設置(2015年10月～)
- ・新入社員への安全教育
- ・入社年次別の安全教育

### 労働災害撲滅に向けた取り組み

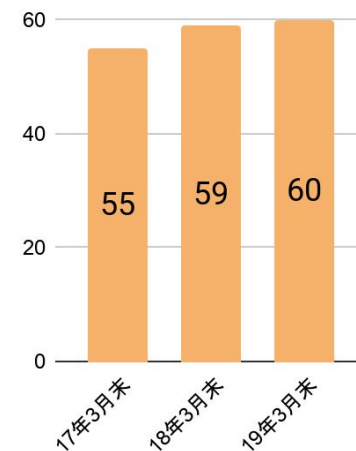
- ・全社安全生産会議の実施  
毎回開催工場を変え、現場巡視も  
含めた会議を2ヶ月に1回実施

## 今回更新

### 高齢者雇用

再雇用制度による、  
技能継承や人手不足解消

再雇用者数の推移



危険体感施設(堺工場)での研修

## コーポレートガバナンス向上のための取り組み①

## 取締役会の構成

- ・社外取締役の登用  
(2019年6月総会時点:社内4名、社外3名)

## 取締役の指名・報酬

- ・取締役の指名報酬に関する諮問委員会設置(2015年11月)
- ・取締役、執行役員に対する株式報酬制度導入(2016年7月)
- ・社内取締役に対する譲渡制限付株式報酬制度導入(2019年8月)

コーポレートガバナンス  
ガイドラインの制定・改訂

- ・コーポレートガバナンス・  
ガイドラインの策定(2015年)
- ・コーポレートガバナンスコード  
改訂に伴うコーポレートガバナンス・ガ  
イドラインの更新(2018年)



## 取締役会の評価

- ・取締役会の運営・構成等に関する評価実施  
(2016年4月以降毎年実施)

## コンプライアンス研修の実施

国内グループ全従業員を対象とした研修の実施

実施年度	実施テーマ
2019年度	パワーハラスメント
2018年度	セクシャルハラスメント(マタハラ・LGBT) パワーハラスメント
2017年度	SNSを利用した情報発信
2015年度	多様な雇用形態・セクシャルハラスメント

## コーポレートガバナンス向上のための取り組み②



## コンプライアスマニュアルの作成・配布

遵守事項(要約)		
1.人権の尊重、差別・セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの禁止、個人情報保護	6.知的財産権関連諸法	11.情報システムの適切な使用
2.独占禁止法及び関連諸法の遵守	7.贈賄の禁止及び贈答・接待等	12.適正な経理処理・税務申告と適正な会社情報の開示
3.不正競争の禁止	8.反社会的勢力への利益供与の禁止	13.利益相反行為等の禁止
4.各種法令、規則の遵守	9.環境保全	14.当局への報告・捜査協力
5.インサイダー取引規制	10.情報の適切な管理	15.政治運動等への参加ルール

## コンプライアンス委員会・コンプライアンス相談窓口の設置

- ・コンプライアンス委員会の設置
- ・社内コンプライアンス相談窓口
- ・社外コンプライアンス窓口
- ・社内コンプライアンス女性専用窓口 を設置



<b>文化活動への協賛・支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正倉院展協賛(2012年度～) ※2019年度は東京国立博物館「正倉院の世界」展に同時協賛</li> <li>・ワンコイン文楽協賛(2018年度～)</li> <li>・劇団四季こころの劇場協賛(2015年度～)</li> </ul>
<b>スポーツ活動推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラグビーワールドカップ2019花園開催支援(2018年度)</li> </ul>
<b>地域社会への貢献</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025日本万国博覧会誘致委員会協賛(2017年度～)</li> </ul>
<b>グローバルコミュニティへの貢献</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・G20大阪サミット支援(2019年度)</li> <li>・アジア失明予防の会支援(2015年度～)</li> <li>・インドBal Niketan高等学校の学生に奨学金給付 (KUMA社にて実施・2017年度～)</li> </ul>

Everywhere, MARUICHI

## どこにでもある、 たったひとつの会社に。

「どこにでもある」には、以下の3つの意味が込められています。

- ①生活のどこにでもある(くらしのなかの様々な場面で丸一鋼管の製品が活躍している)
- ②日本のどこにでもある(需要地生産体制のもと、全国各地に生産販売ネットワークがある)
- ③世界のどこにでもある(加速するグローバル展開により、世界各地に拠点がある)

「どこにでもある」、唯一無二でユニークな「たったひとつの」会社へ。

01 × 100  
M A R U I C H I × H U N D R E D

## 事業の深化と進化による収益性の向上

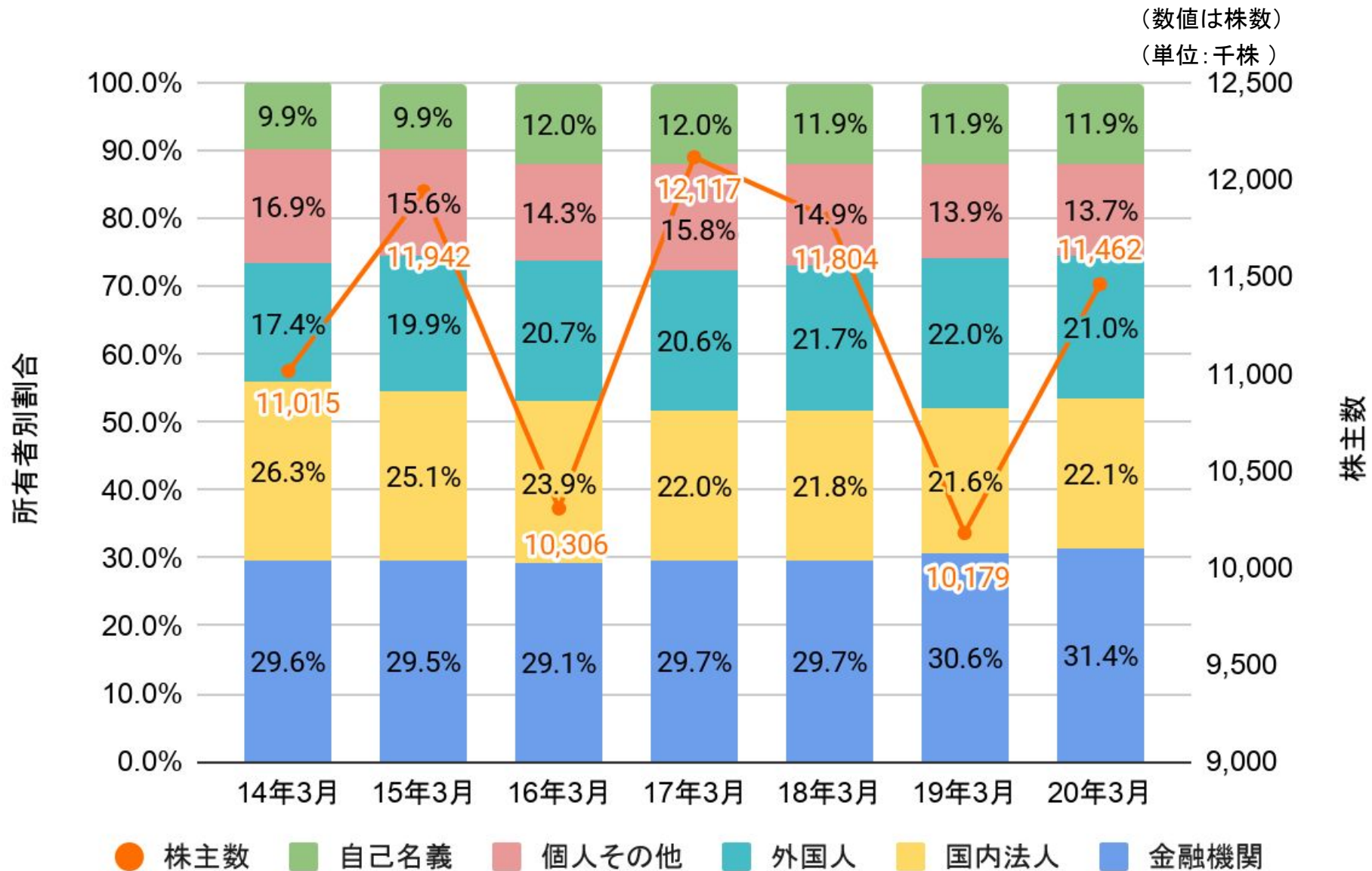
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の導入
- オープンイノベーションの推進
- 社会課題解決を意識したグローバル展開の加速

## 新領域への果敢な挑戦

## イノベーションを生む組織への変革



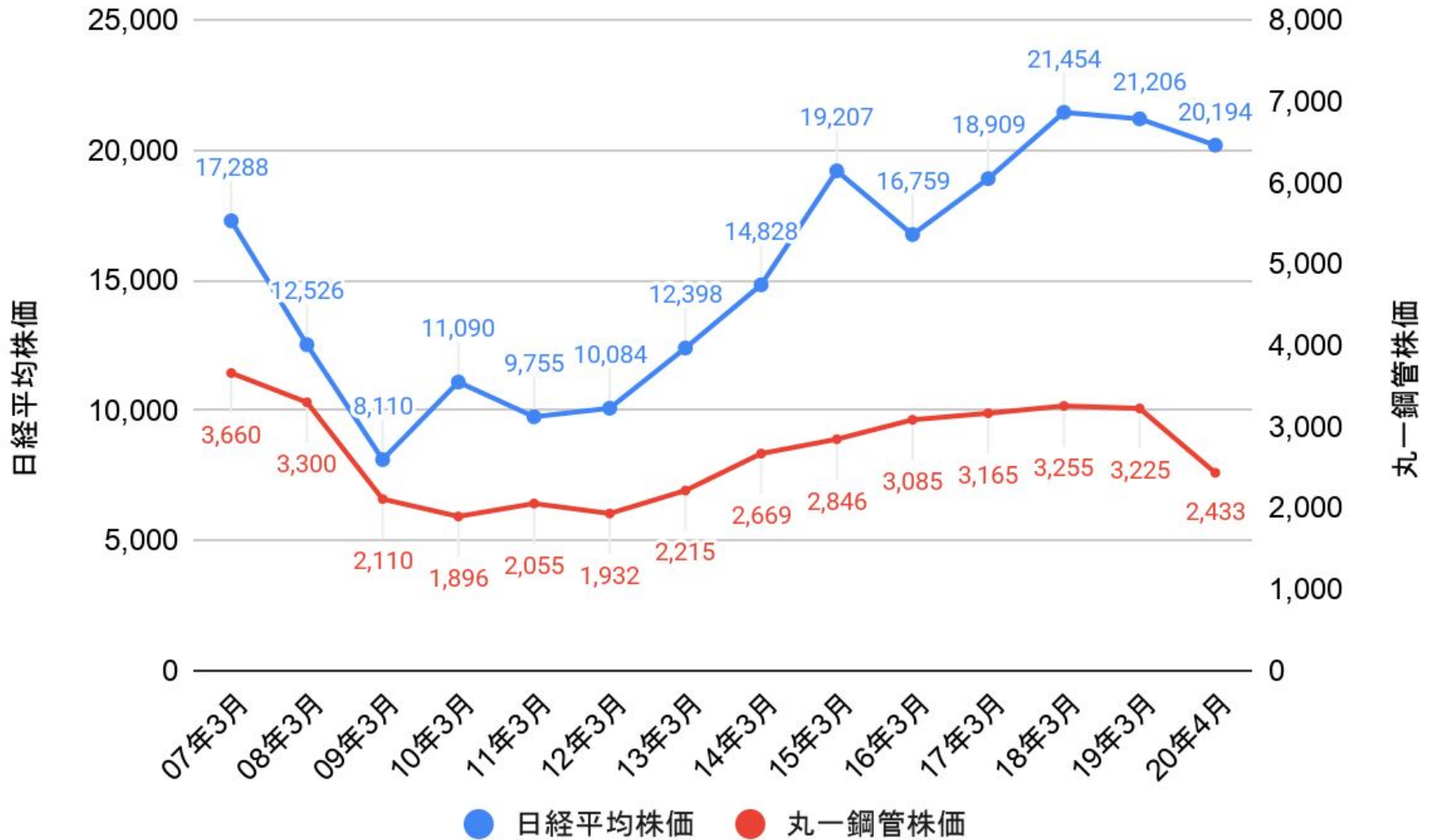
# (参考)株主構成変化



2005年10月より単元株を100株へ引き下げ、2008年4月 自己名義株のうち、426万株を消却



(単位:円)



# (参考資料) 海外各社の概要と業績の推移

		操業	稼働状況	客先動向
アメリカ	MAC MOST LEAVITT	○	工場は部分的に稼働、事務所は交代で在宅勤務（鉄鋼はアメリカにおけるEssential Businessにつき稼働可能）	客先は80-90%稼働
メキシコ	MMX AMX	×	政府のEssential Business以外の操業停止要請を受け、4/13より5/17まで稼働停止	各自動車メーカー、部品メーカー操業停止中（5月中旬に稼働再開予定）
ベトナム	SUNSCO (HCM・HNI) Jスパイラル	○	全社感染対策を実施のうえ稼働中	各二輪メーカー、部品メーカーも稼働中
インド	KUMA	×	全土でのロックダウンを受け、3/23から5/17まで稼働停止予定（出荷対応可能な体制は確保）	各社3/23より稼働停止中。一部自動車メーカーは生産再開も低操業。
インドネシア	ISTW	○	事務所は隔日交代制在宅勤務、工場は顧客の状況に応じて2班に分け部分稼働	概ね低稼働あるいは操業停止。特に5月はレバラン休暇も控え全体的に低調。
中国	MMP	○	全拠点部分稼働中（佛山、天津、武漢）	
フィリピン	MPST	×	ルソン島のロックダウン延長を受け、4/30から5/12まで稼働停止、5/13より部分稼働予定	各二輪メーカーは5月17日まで操業停止予定

**社名** Maruichi Sun Steel Joint Stock Company  
(SUNSCO社)

**設立** 1996年6月 (2006年資本参加)

**所在地** ホーチミン 及び ハノイ

**資本金** US \$ 130百万

**株主構成** 丸一鋼管 72.53 %

豊田通商 9.73 %

JFEスチール 8.00 %

台湾株主 9.74 %

**従業員数** 560 人

**生産実績** 年間 226,300 MT



Maruichi Sun Steel (Hanoi) Company Limited  
製品倉庫 (2018年3月完成)



Maruichi Sun Steel Joint Stock Company (ホーチミン)

業績の推移(ハノイ含む)

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2015年12月	196	▲1
2016年12月	202	17
2017年12月	226	▲1
2018年12月	230	▲3
2019年12月 実績	207	0
2020年12月 予想	206	13

第5次中期経営計画(2020年12月)目標	258	20
-----------------------	-----	----



**社名** Maruichi Leavitt Pipe&Tube, LLC  
 (Leavitt社)  
**設立** 1956年 (2008年資本参加)  
**所在地** イリノイ州 シカゴ  
**資本金** US \$ 25,225千  
**株主構成** MKK USA. INC 90.00 %  
 米国住友商事 10.00 %  
**従業員数** 113 人  
**生産実績** 年間 102,200 MT



2インチミル(2018年7月更新完了)

### 業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2015年12月	102	▲26
2016年12月	90	5
2017年12月	106	6
2018年12月	127	10
2019年12月 実績	101	▲6
2020年12月 予想	85	▲4

第5次中期経営計画(2020年12月)目標	123	9
-----------------------	-----	---

社名 Maruichi American Corporation (MAC社)

設立 1978年12月

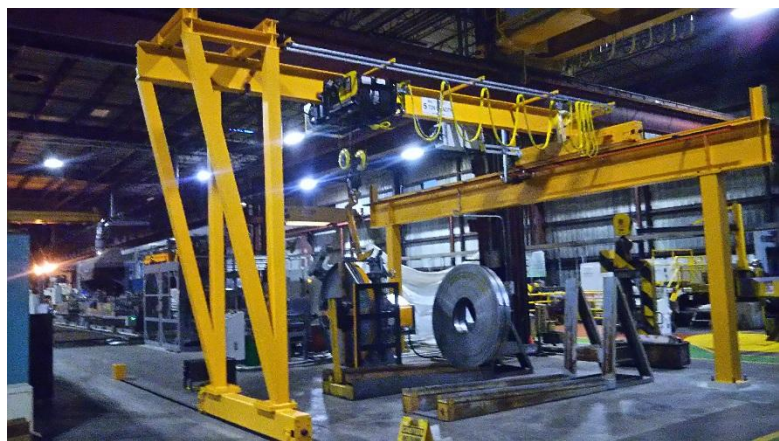
所在地 カリフォルニア州

資本金 US \$ 7.5百万

株主構成	丸一鋼管	53.00 %
	メタルワン	30.00 %
	丸一鋼販	8.00 %
	三菱UFJ銀行	5.00 %
	三井住友銀行	4.00 %

従業員数 68 人

生産実績 年間 55,500 MT



2インチミル(2018年12月完成)

業績の推移

(単位:百万US \$)

	売上高	営業利益
2015年12月	60	0
2016年12月	60	6
2017年12月	68	3
2018年12月	87	9
2019年12月 実績	67	▲4
2020年12月 予想	57	▲0

第5次中期経営計画(2020年12月)目標	74	6
-----------------------	----	---



**社名** Maruichi Oregon Steel Tube, LLC  
 (MOST社)  
**設立** 2015年  
**所在地** オレゴン州 ポートランド  
**資本金** US \$ 55百万  
**株主構成** MKK USA 100 %  
**従業員数** 48 人  
**生産実績** 年間 34,600 MT



MOST社 2インチミル(2018年11月新設)

### 業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2015年12月	35	0
2016年12月	39	4
2017年12月	48	3
2018年12月	54	1
2019年12月 実績	41	▲7
2020年12月 予想	32	▲1

第5次中期経営計画(2020年12月)目標	59	5
-----------------------	----	---

**社名** MARUICHIMEX S.A. de C.V.  
 (Maruichimex社)  
**設立** 2012年1月  
**所在地** アグアスカリエンテス州  
**資本金** US \$ 2,080万相当  
**株主構成** MAC 30.00 %  
 MKKUSA 30.00 %  
 伊藤忠丸紅鉄鋼グループ 20.00 %  
 豊田通商 20.00 %  
**従業員数** 80 人  
**生産実績** 年間 12,500 MT



切断工場（2019年4月完成）

業績の推移

（単位：百万US \$）

	売上高	営業利益
2015年12月	15	3
2016年12月	18	4
2017年12月	19	4
2018年12月	20	3
2019年12月 実績	23	4
2020年12月 予想	18	1

第5次中期経営計画(2020年12月)目標	29	6
-----------------------	----	---



**社名** Maruichi KUMA Steel Tube Private Limited  
 (KUMA社)  
**設立** 2003年11月(2009年資本参加)  
**所在地** ハリヤナ州 グルガオン マネサール、  
 バンガロール、グジャラート州  
**資本金** INR 113百万  
**株主構成** 丸一鋼管 70.00 %  
 豊田通商 30.00 %  
**従業員数** 113 人  
**生産実績** 年間 25,700 MT



バンガロール工場



グジャラート工場(2020年2月新設)

業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2016年3月	35	2
2017年3月	41	4
2018年3月	57	6
2019年3月	56	6
2020年3月 実績	51	4
2021年3月 予想	30	1

第5次中期経営計画(2020年12月)目標	74	8
-----------------------	----	---

社名 Maruichi Metal Product (Foshan) Co.,Ltd. (MMP社)

設立 2005年4月

所在地 広東省佛山市

資本金 US\$ 1,800万

株主構成	丸一鋼管	35.00 %
	巨冠有限公司	35.00 %
	Chung Mao Trading	15.00 %
	豊田通商	10.00 %
	メタルワン	5.00 %

従業員数 233 人



武漢工場



丸一金属制品(佛山)有限公司



丸一金属制品(天津)有限公司

社名	PT. Indonesia Steel Tube (ISTW社)	
設立	1972年12月	
所在地	ジャカルタ	
資本金	US\$ 435万 相当	
株主構成	丸一鋼管	20.00 %
	メタルワン	60.00 %
	現地	20.00 %
従業員数	515 人	



ジャカルタ工場



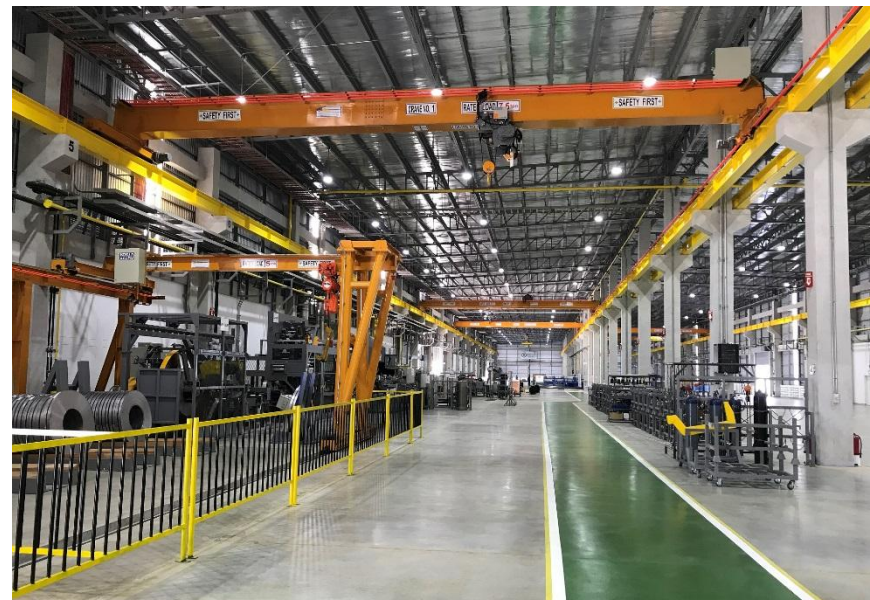
ジャカルタ東部 チカラン工場 (2019年3月新工場建屋完成)



セマラン工場



社名	Maruichi Philippines Steel Tube Inc. (MPST社)	
設立	2018年2月	
所在地	バタンガス州	
資本金	US \$ 1,550万 相当	
株主構成	丸一鋼管	70.00 %
	豊田通商	30.00 %
従業員数	20 人	



# (参考資料) 丸一グループの特色

- わが社は、パイプのリーディング・カンパニーとして、すぐれた製品を供給し顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。
- わが社は、株主、取引先、従業員、地域社会等、すべてのステークホルダーを尊重します。
- わが社は、従業員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。
- わが社は、すべての従業員にとって、その人生を託すにふさわしい、素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。





# 3. 海外生産拠点

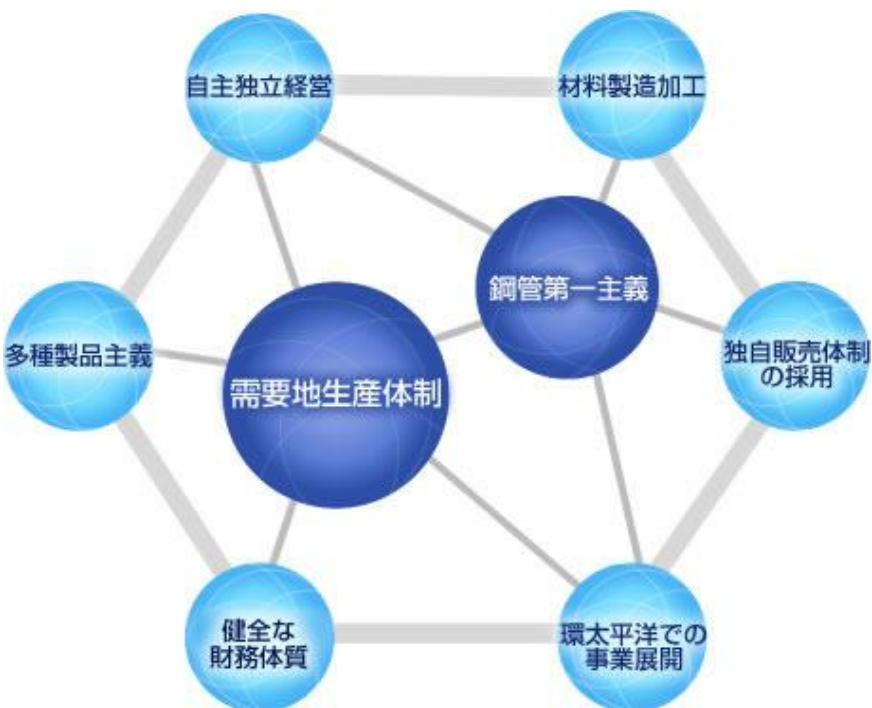
## アジア

- MMP社(天津) (中国)
- MMP社(佛山) 武漢工場(中国)
- KUMA社(インド) マネサール工場
- MMP社(佛山) (中国)
- KUMA社(インド) グジャラート工場
- SUNSCO(ハノイ)社 (ベトナム)
- MPST社 (フィリピン)
- KUMA社(インド) バンガロール工場
- SUNSCO社 (ベトナム)
- J-スパイラル社 (ベトナム)
- ISTW社チカラン工場 (インドネシア)
- TW社ジャカルタ工場 (インドネシア)
- ISTW社セマラン工場 (インドネシア)

## 米州

- MOST社 (アメリカ)
- Leavitt社 (アメリカ)
- MAC社 (アメリカ)
- Alphamex社 (メキシコ)
- MARUICHIMEX社 (メキシコ)





#### 需要地生産体制

関連会社を含め北海道から九州まで 12 工場を展開しています。このことはユーザーへのサービス向上をはじめとして、流通コストの削減にも大きく貢献しています。

#### 多種製品主義

ユーザーの多様なニーズに対応するために、多種製品を提供しています。

#### 材料製造加工

託工場場で加工・処理された最適品質の鋼帯が、丸一グループの各工場で使用されています。

#### 自主独立経営

いずれの系列にも偏らない自主独立の経営を行っているため、仕入・販売先に関して制約を受けることはありません。従って常に最大利益を追求する事業展開が可能となっております。

#### 健全な財務体質

健全な財務体質が、強力なバックボーンとなっています。

#### 鋼管第一主義

鋼管及びその周辺業務を展開しています。

#### 独自販売体制の採用

製品販売は「総合商社」「丸一鋼販」の2ルートを通じて行っています。丸一鋼販は自前倉庫を持ち、在庫販売も行っています。このシステムにより、顧客のニーズや需要動向・価格動向がピビッドに丸一鋼管に吸い上がるため、市場に敏感な経営戦略を常に立案することができます。

#### 環太平洋での事業展開

ホットコイルや製品の需給市況等の潮流が把握しやすくなっています。

1926	自転車部品製造の丸一製作所を発足	1989	詫間工場を新設	2015	MOST社 連結子会社化
1935	自転車鋼管の製造を始める	1998	北海道丸一鋼管株式会社の札幌工場を 苫小牧工場に統合	2016	大阪工場 集約完了
1940	丸一鋼管工場と改称	2000	新広島事務所・倉庫完成	2018	フィリピン MPST社 設立 本社、大阪事務所、営業部電材課、 丸一鋼管本社、同大阪営業所を 大阪市中央区難波に移転
1948	株式会社丸一鋼管製作所を設立	2001	詫間工場に焼鈍設備を新設	2019	フィリピン MPST社 操業開始
1956	大阪出張所を改組し、丸一鋼管株式会社を設立	2002	東京第二工場新倉庫を建設	2020	コベルコ鋼管(6月:丸一ステンレス鋼管 に社名変更予定)の株式を取得
1957	大阪工場を新設	2003	名古屋工場内に物流倉庫及び加工工場を増設		
1958	東京事務所を開設	2005	JFE大径鋼管の照明柱事業を継承		
	米国アビー・エトナ社製の電気溶接製管設備を 輸入し、電縫管メーカーに転換	2006	名古屋工場寸法切り倉庫棟竣工 中国 MMP社操業開始 東洋特殊鋼業へ出資 ベトナム SUNSCO社へ出資		
1960	丸一鋼管株式会社と商号変更 名古屋事務所開設	2007	名古屋工場0.5インチミル増設 堺工場 第6工場の新設 設備稼働		
1961	東京工場を新設		詫間工場 メッキ炉改造工事 酸洗ライン トリミング設備設置		
1962	東京・大阪両証券取引所市場第二部に上場	2008	SUNSCO社・LEAVITT社 連結子会社化 堺工場リニューアル工事完了		
1964	東京・大阪両証券取引所市場第一部に上場 福岡事務所を開設	2009	インド KUMA社 子会社化 セイケイ 堺製造所 稼働		
1965	堺工場を新設	2010	アルファメタル 連結子会社化 SUNSCO社 16インチミル増設		
1966	名古屋工場を新設 (昭和59年現名古屋工場へ統合) 広島事務所を新設		SUNSCO社 HANOI社 操業開始 ベトナム J・スパイラルスチールパイプ社へ出資		
1970	北海道丸一鋼管株式会社を設立 札幌事務所を開設	2011	中国 MMP天津社 稼働 東京第二工場 ステンレス鋼管工場を新設 堺特品工場 第2工場を増設		
1971	インドネシア ISTW社を設立	2012	中国 MMP社 武漢工場新設 東京第二工場 第3工場を新設		
1972	特品工場を新設 大阪事務所を開設		メキシコ Maruichimex社設立		
1973	東京工場第二工場を新設	2013	詫間工場 メガソーラー発電所 稼働 SUNSCO社 第2 CGL・CCL稼働		
1974	四国丸一鋼管株式会社を設立 九州丸一鋼管株式会社を設立	2014	東京工場 集約完了		
1977	名古屋第二工場(現名古屋工場)を新設		Maruichimex社 連結子会社化		
1978	本社を大阪市西区北堀江に移転 アメリカ MAC社を設立				

## 丸一鋼管グループの方向性について

1. 今後も株主重視の経営を推進し、株主価値の最大化に向けて  
不断の努力を続けて参る所存です。そして、鋼管業界において  
グローバルでみて質・量共にトップと言える企業集団へ成長発展を続け  
てまいります。
2. 当社では、第5次中期経営計画のもと、事業環境が急激に変化するな  
か、引き続き社会の要請に応えながら高い収益力を維持しつつ、将来  
の成長に必要な投資を積極的に行い、さらなる成長を目指してまいり  
ます。

 丸一鋼管株式会社

## 注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。